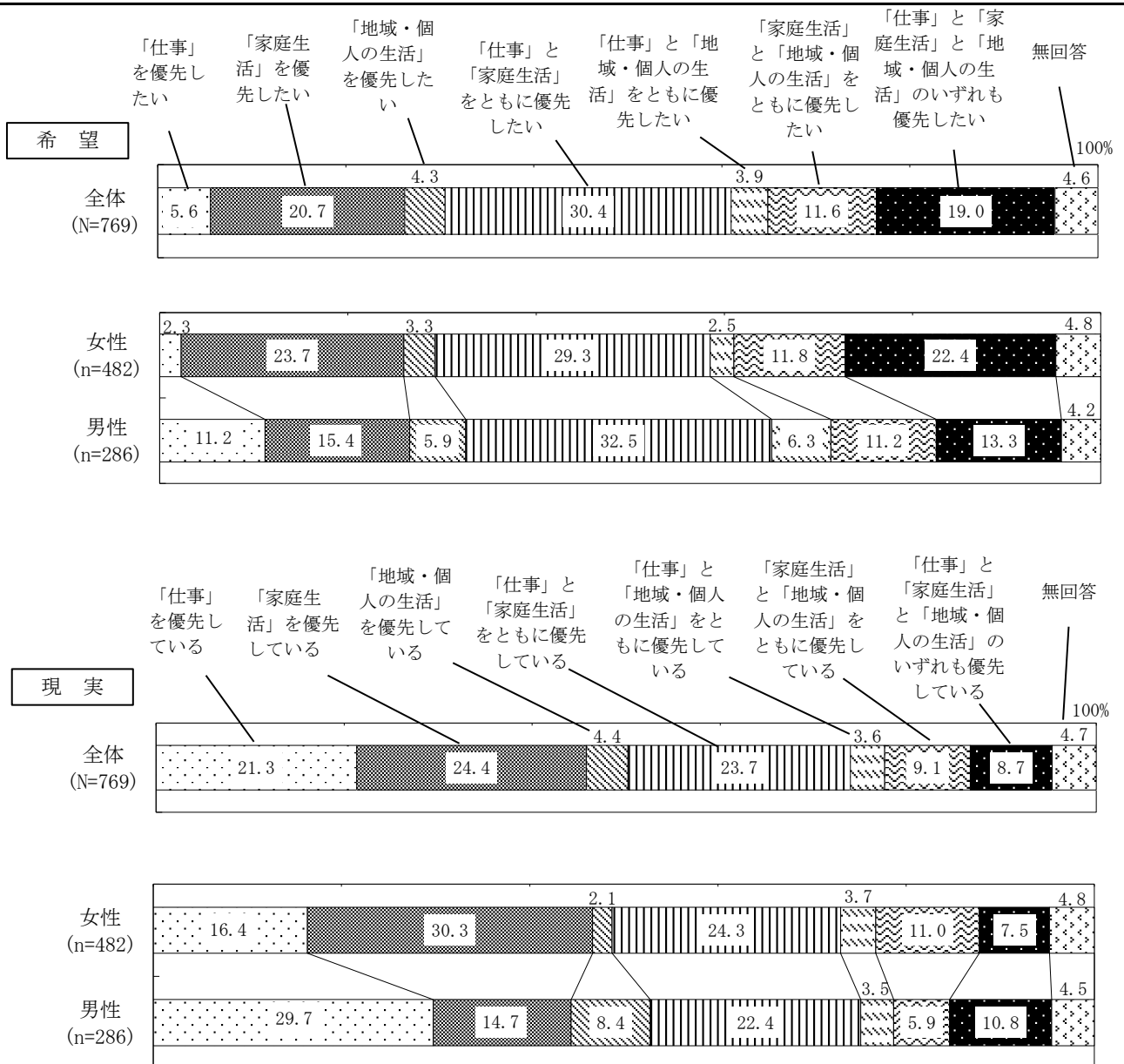


□ 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）についてお尋ねします

問15 「仕事」、「家庭生活」、「地域・個人の生活」（地域活動・学習・趣味・付き合い等）の優先度についてお伺いします。



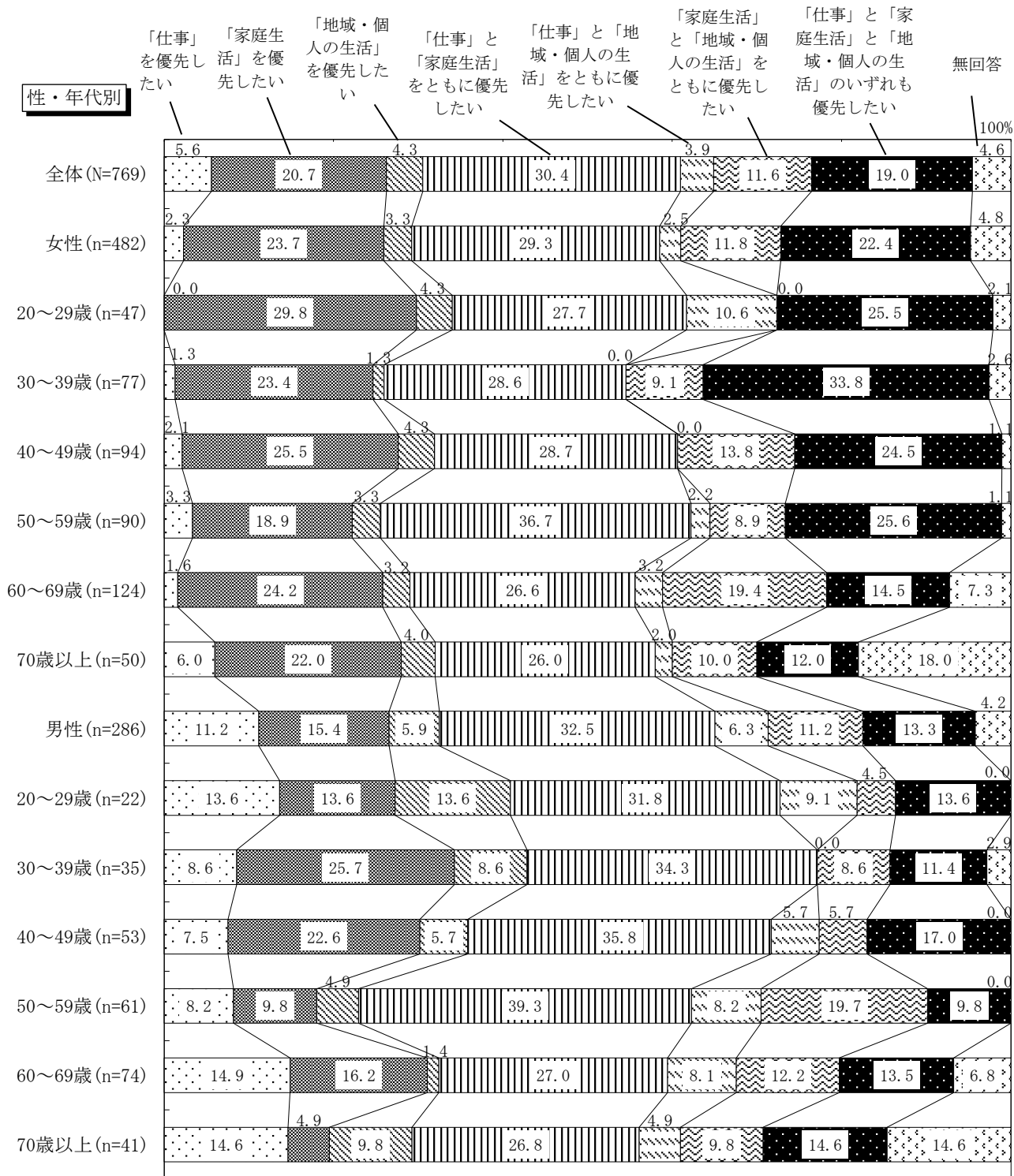
生活における優先度についてみると、希望は、男女ともに「「仕事」と「家庭生活」をともに優先したい」（女性29.3%、男性32.5%）が最も多く、次いで「「家庭生活」を優先したい」（女性23.7%、男性15.4%）となっている。

現実（現状）は、女性は「「家庭生活」を優先している」（30.3%）が最も高く、次いで「「仕事」と「家庭生活」をともに優先している」（24.3%）となっている。一方、男性は「「仕事」を優先している」（29.7%）が最も高く、次いで「「仕事」と「家庭生活」をともに優先している」（22.4%）となっている。

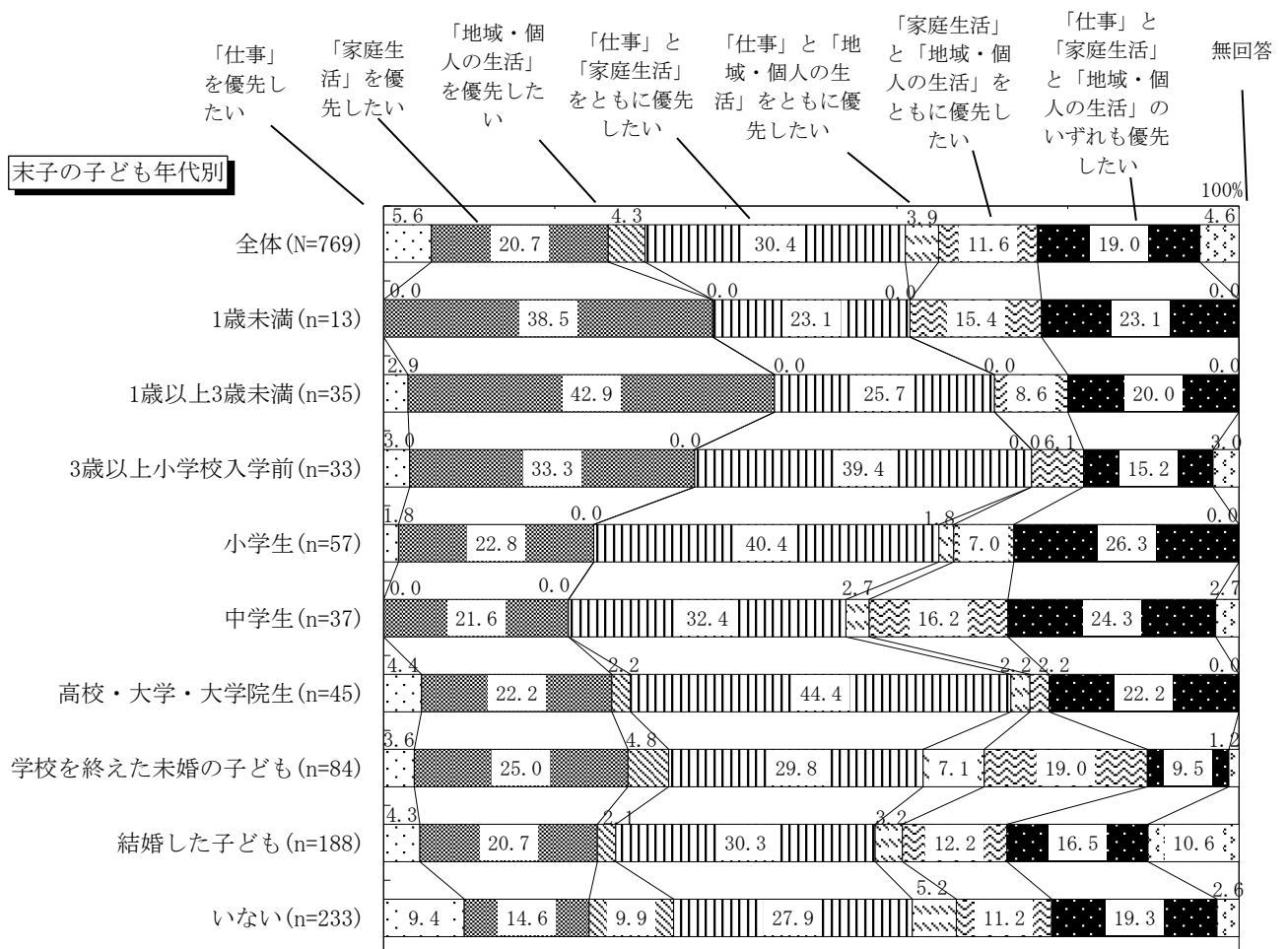
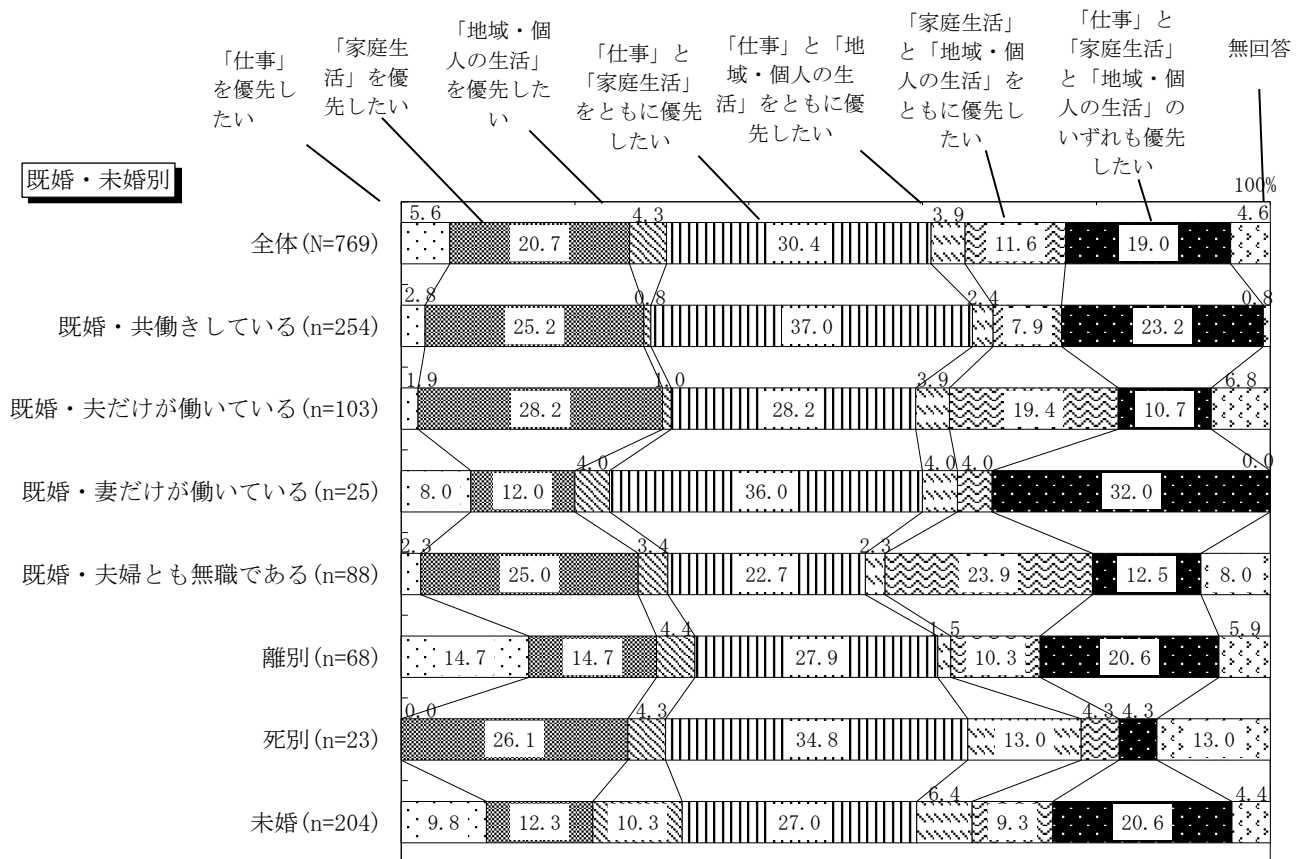
□ 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）についてお尋ねします

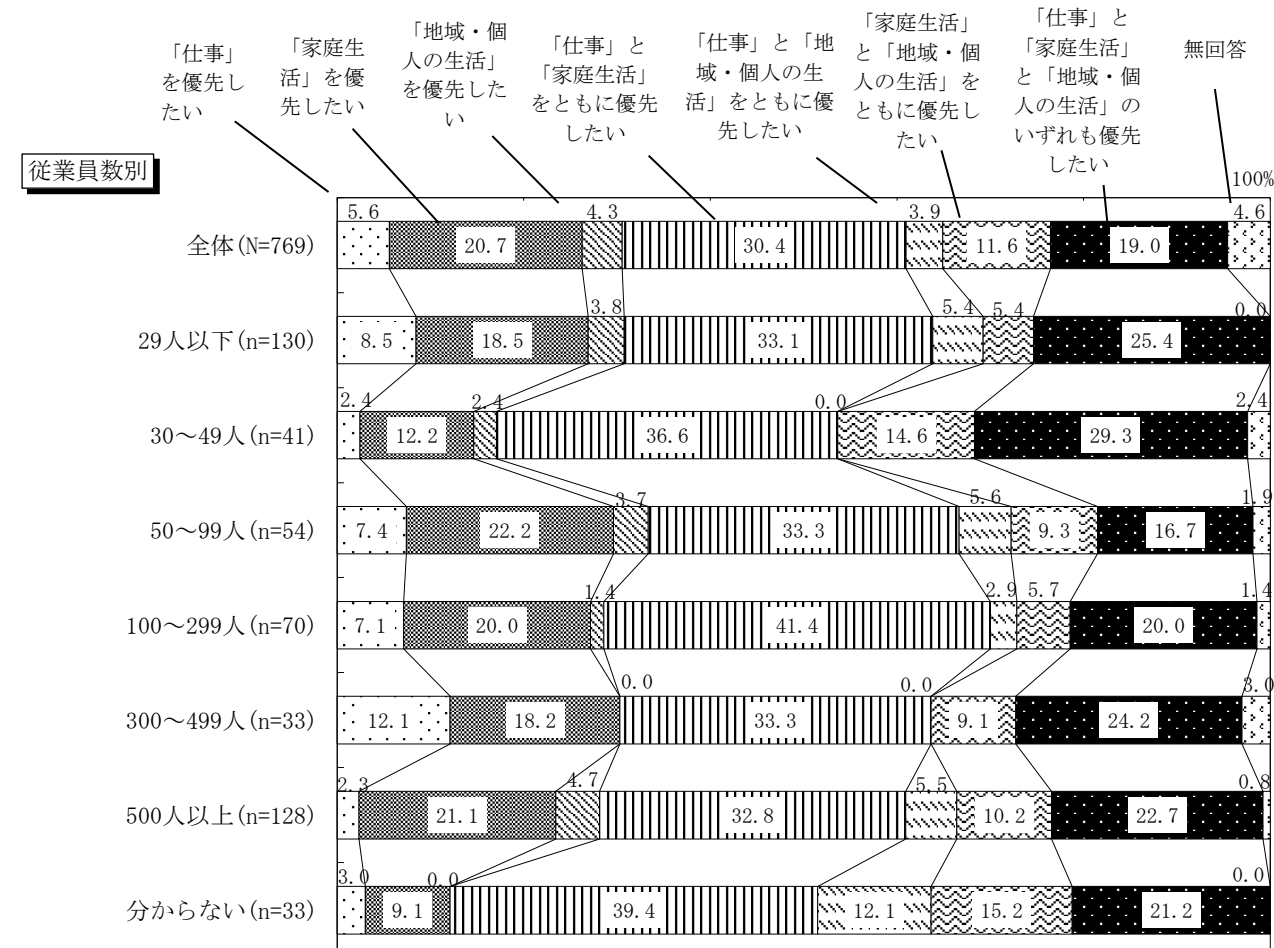
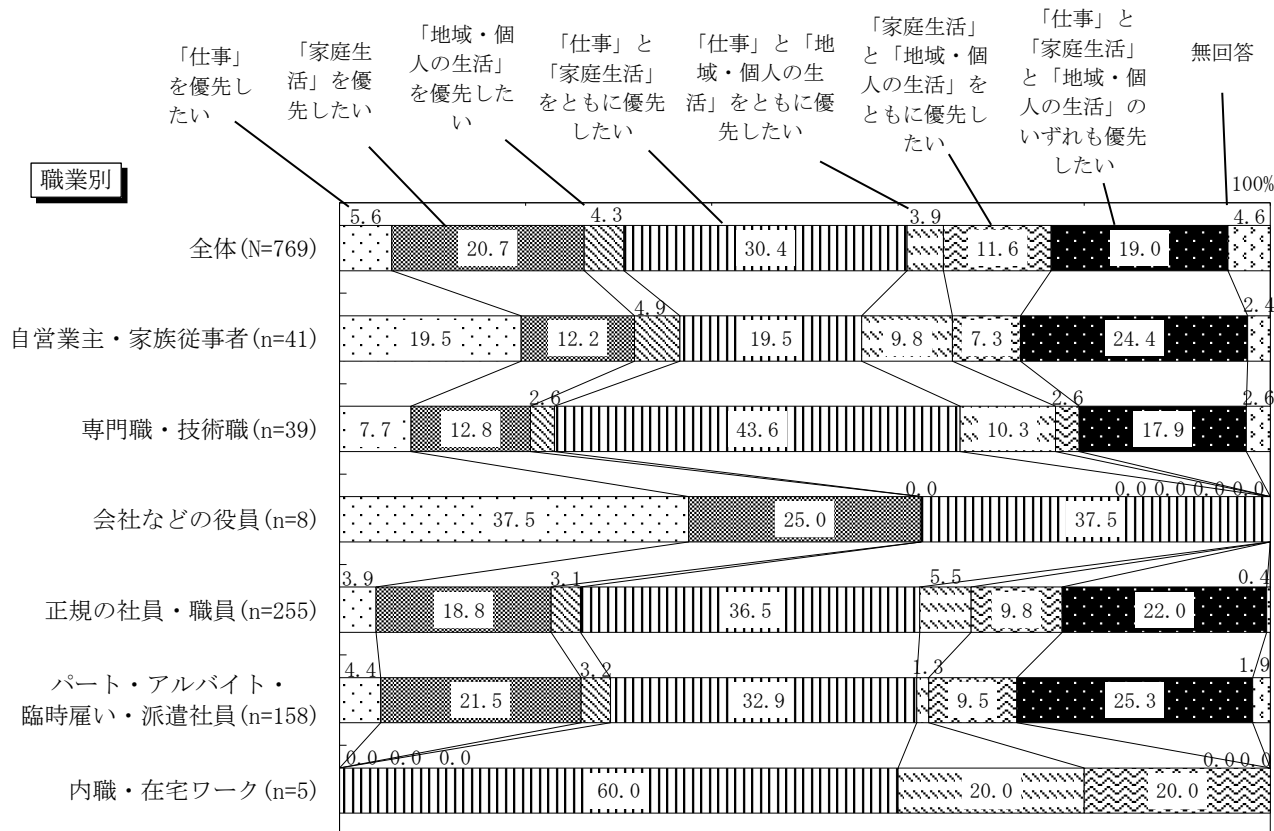
問15

「仕事」、「家庭生活」、「地域・個人の生活」（地域活動・学習・趣味・付き合い等）の優先度についてお伺いします。まず、あなたの希望に最も近いものをこの中から1つだけ選んでください（○は1つだけ）。



年代別にみると、女性は40代以上で「仕事」と「家庭生活」をともに優先したいが最も高くなっている。女性20代は「家庭生活」を優先したい（29.8%）が最も高く、女性30代は「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」のいずれも優先したい（33.8%）が最も高くなっている。一方、男性はいずれの年代も「仕事」と「家庭生活」をともに優先したいが最も高くなっている。





配偶関係別にみると、「仕事」と「家庭生活」をともに優先したい」が最も高くなっているのは、既婚（共働き）（37.0%）、次いで既婚（妻のみ就労）（36.0%）の順となっている。既婚（夫婦とも無職）は「家庭生活」を優先したい」（25.0%）が最も高くなっている。

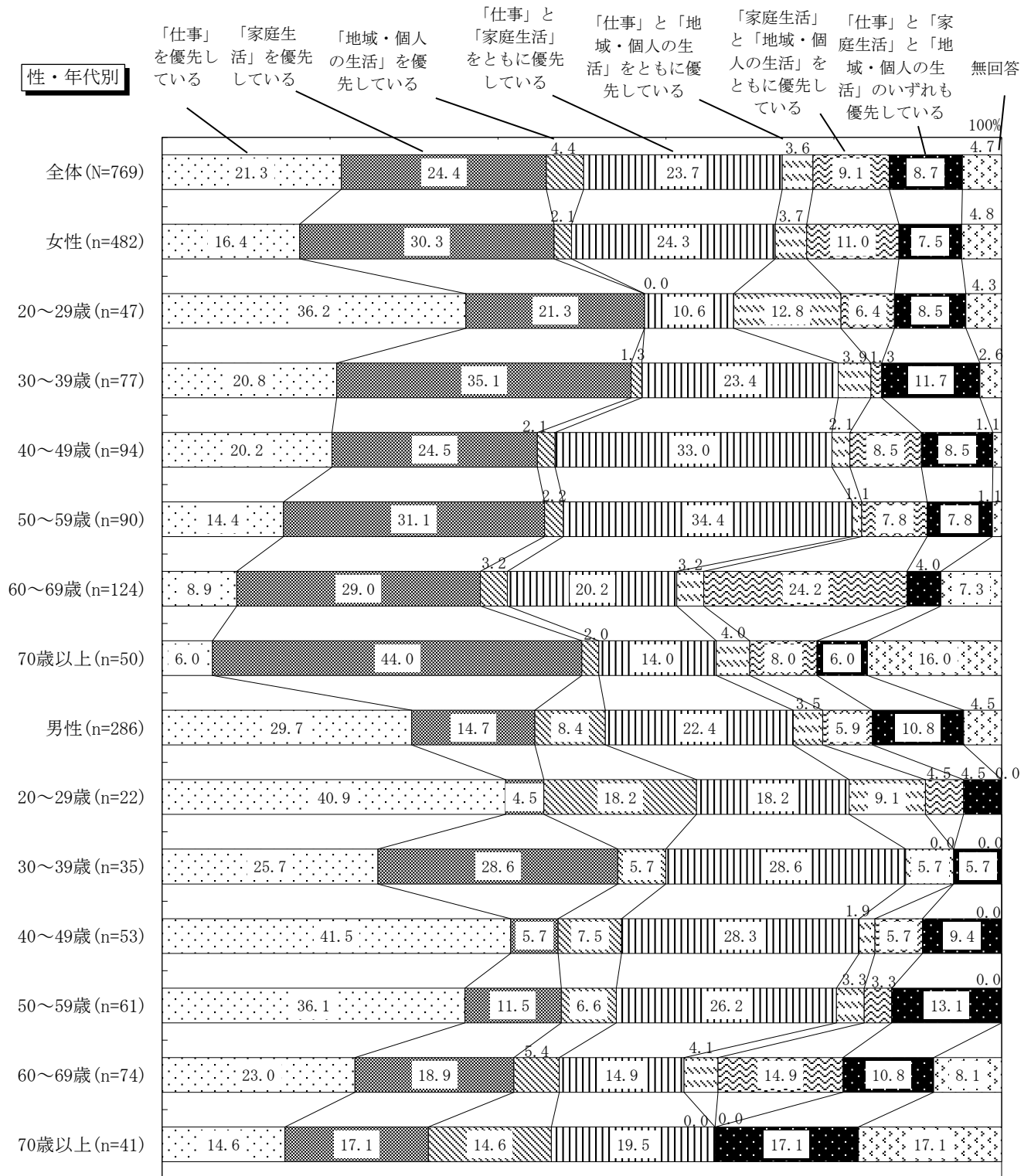
末子の子どもの年代別にみると、子どもが3歳になるまでは「家庭生活」を優先したい」が最も高く、子どもが3歳になると「仕事」と「家庭生活」をともに優先したい」が最も高くなっている。

職業別にみると、自営業主・家族従事者では「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」のいずれも優先したい」が最も高く、会社などの役員では、「仕事」を優先したい」「仕事」と「家庭生活」をともに優先したい」が同率で高くなっている。他の職業は「仕事」と「家庭生活」をともに優先したい」が最も高く、特に内職・在宅ワーク（60.0%）で高くなっている。

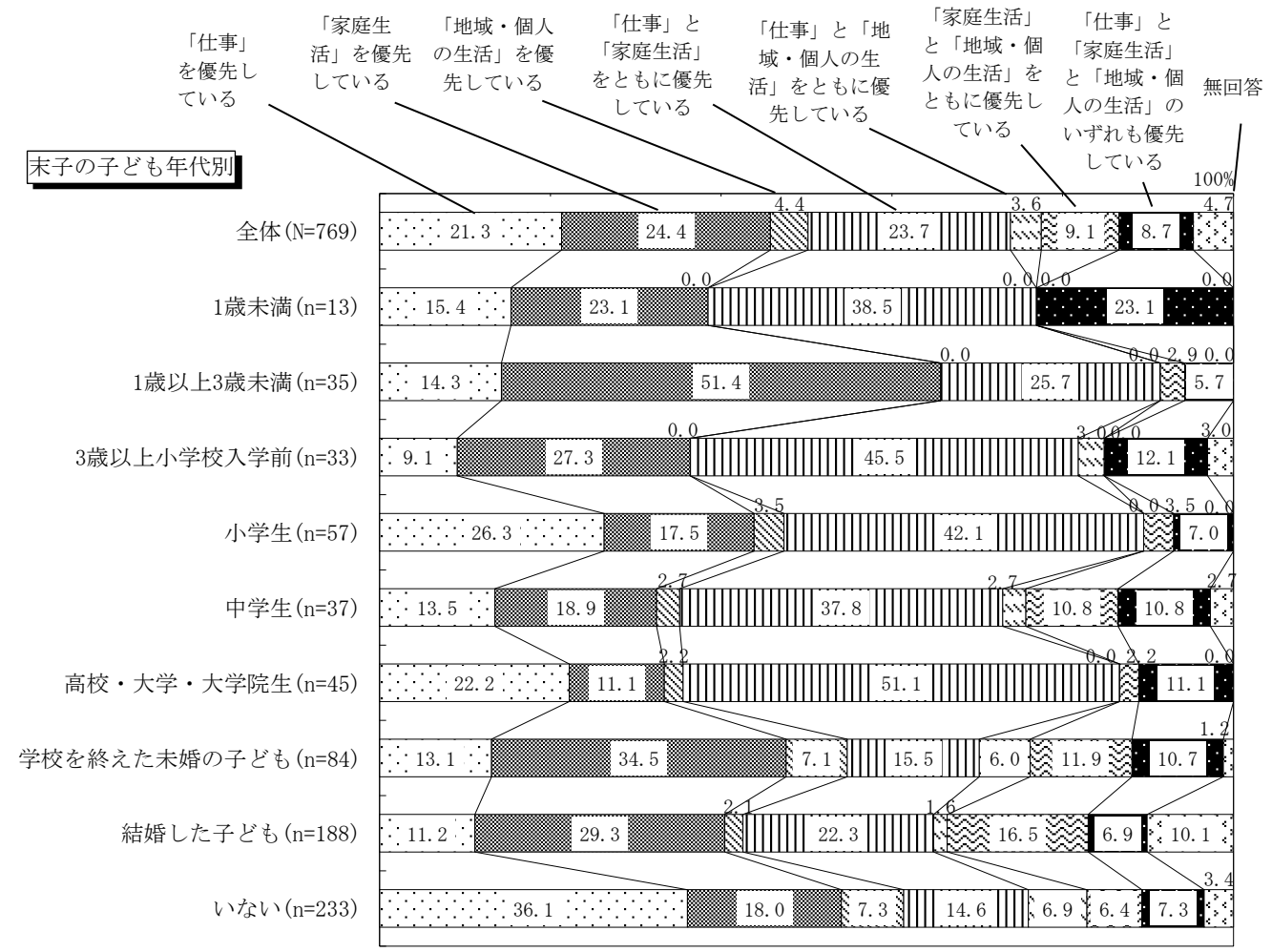
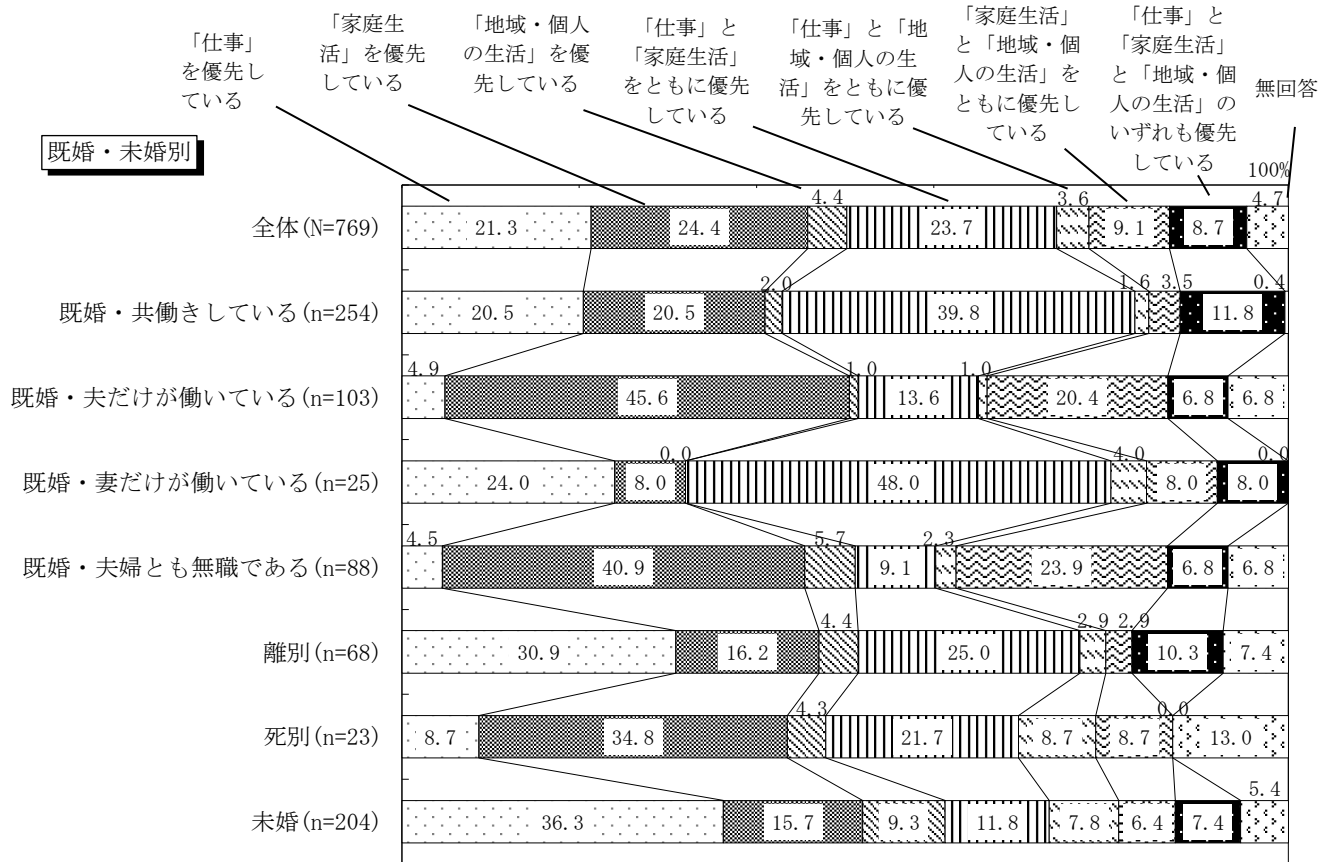
従業員数別にみると、いずれのグループでも「仕事」と「家庭生活」をともに優先したい」が最も高くなっている。

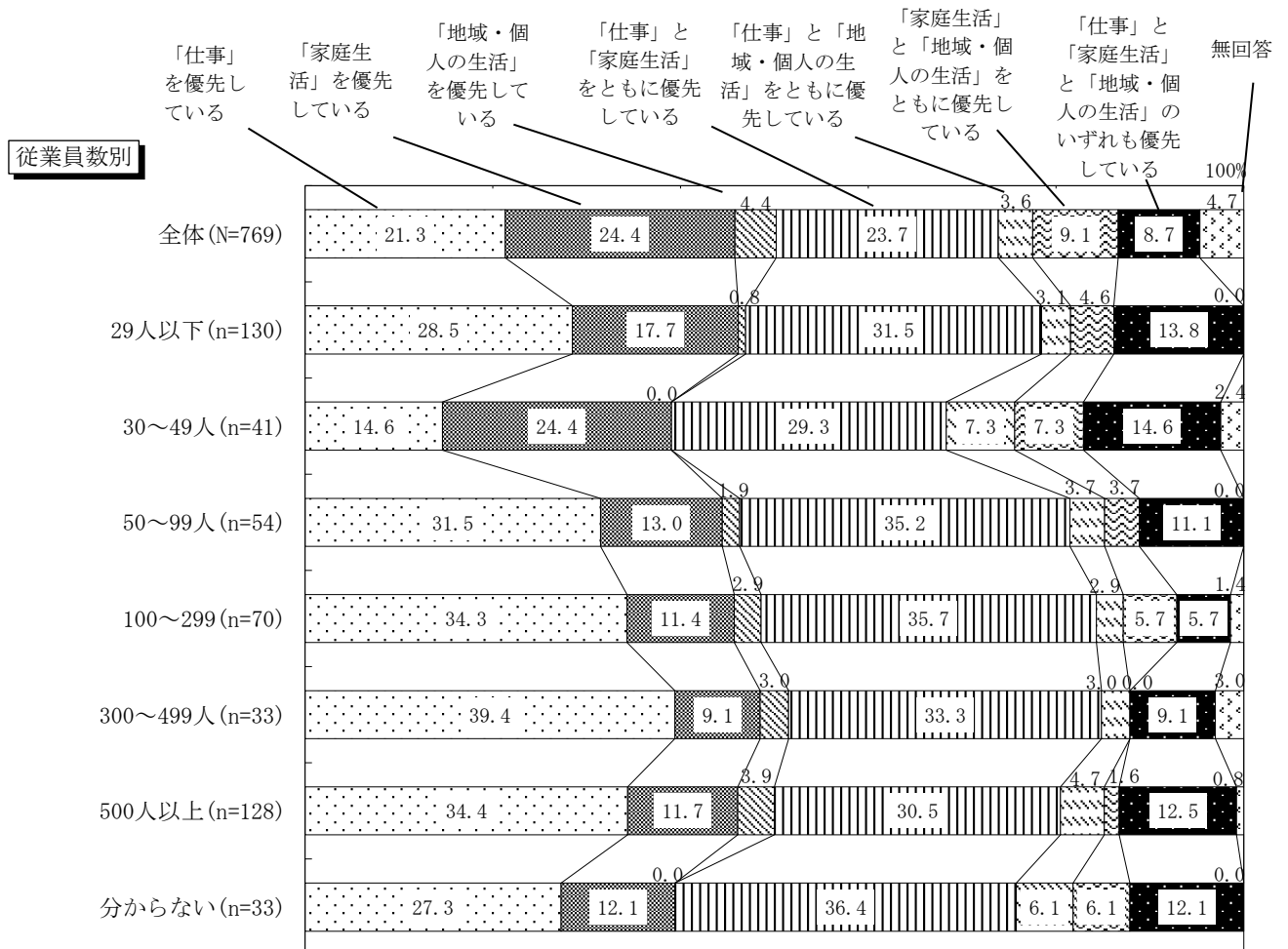
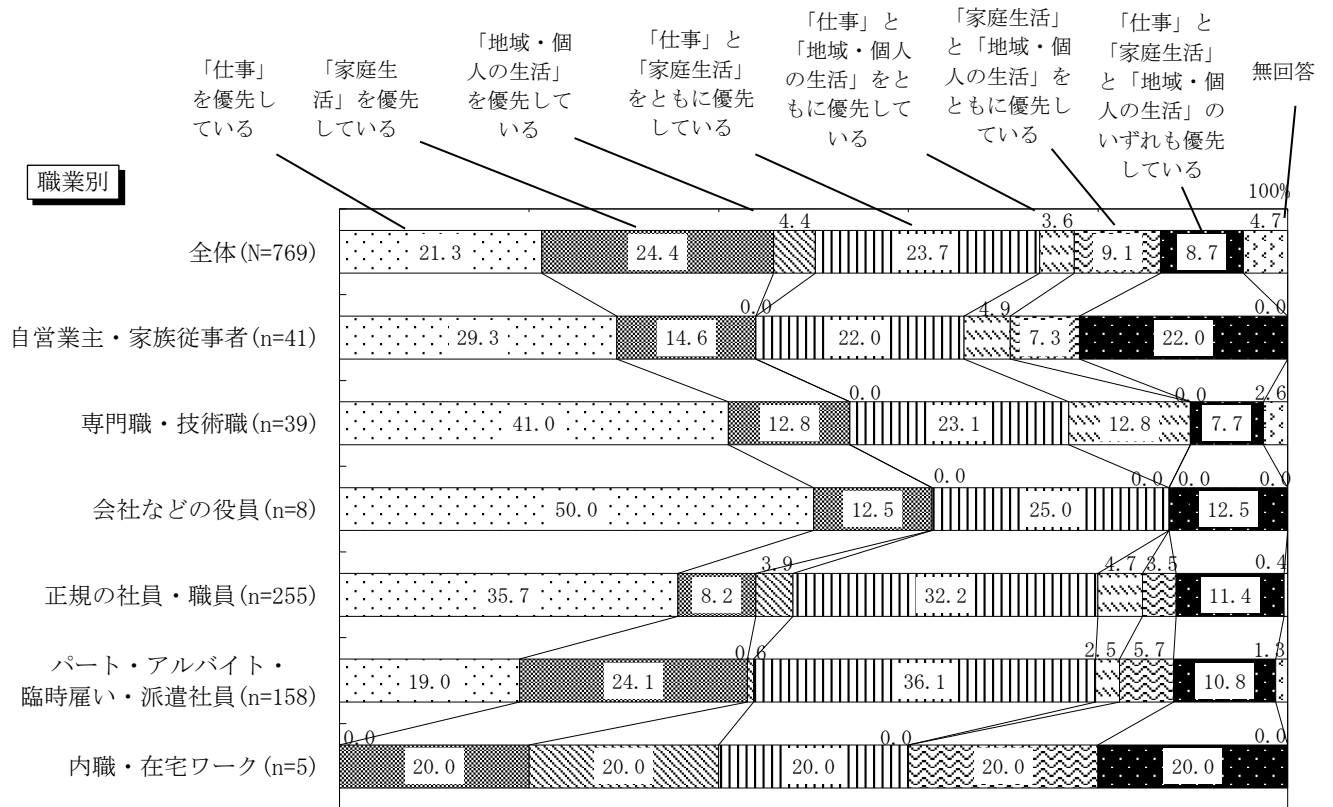
□ 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）についてお尋ねします

問15(付問)
「仕事」、「家庭生活」、「地域・個人の生活」（地域活動・学習・趣味・付き合い等）の優先度についてお伺いします。それでは、あなたの現実（現状）に最も近いものをこの中から1つだけ選んでください。（○は1つだけ）



年代別にみると、女性は20代で「「仕事」を優先している」（36.2%）が最も高く、30代（35.1%）、60代（29.0%）、70歳以上（44.0%）では「「家庭生活」を優先している」が最も高く、40代（33.0%）、50代（34.4%）は「「仕事」と「家庭生活」をともに優先している」が最も高くなっている。一方、男性は20代（40.9%）、40代（41.5%）、50代（36.1%）、60代（23.0%）で「「仕事」を優先している」が最も高く、70歳以上では「「仕事」と「家庭生活」をともに優先している」（19.5%）が最も高くなっている。30代では「「家庭生活」を優先している」「「仕事」と「家庭生活」をともに優先している」（28.6%）が同率となっている。





配偶関係別にみると、既婚（妻のみ就労）（48.0%）、既婚（共働き）（39.8%）では「「仕事」と「家庭生活」をともに優先している」が最も高く、既婚（夫のみ就労）（45.6%）、既婚（夫婦とも無職）（40.9%）、死別（34.8%）は「「家庭生活」を優先している」が最も高く、離別（30.9%）、未婚（36.3%）では「「仕事」を優先している」が最も高くなっている。

末子の子どもの年代別にみると、1歳以上3歳未満（51.4%）、学校を終えた未婚の子ども（34.5%）、結婚した子ども（29.3%）では「「家庭生活」を優先している」が最も高くなっている。1歳未満、3歳以上から学校を終えるまでは「「仕事」と「家庭生活」をともに優先している」が最も高く、子どもがいない方は「「仕事」を優先している」（36.1%）が最も高くなっている。

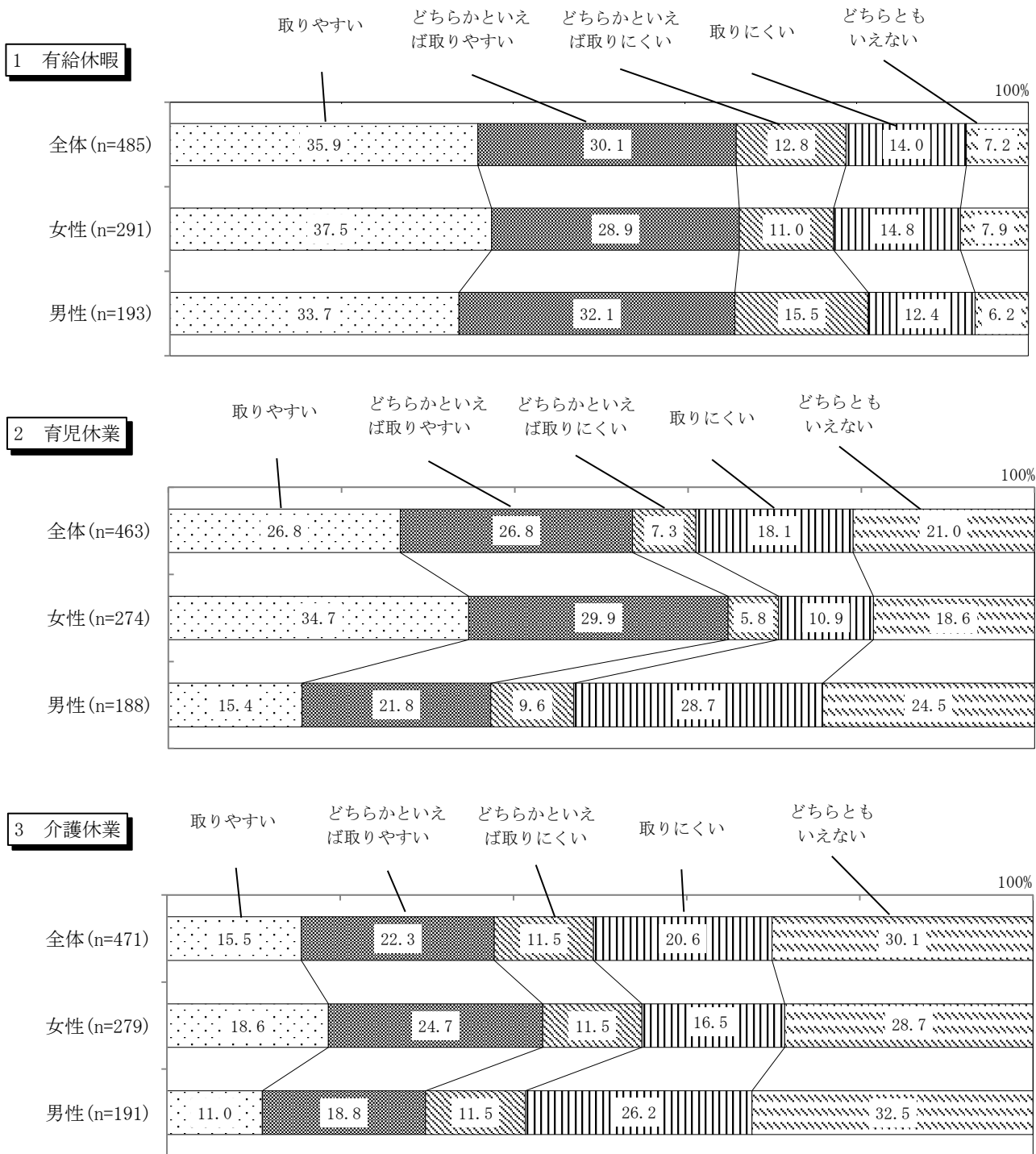
職業別にみると、会社などの役員（50.0%）、専門職・技術職（41.0%）、正規の社員・職員（35.7%）、自営業主・家族従事者（29.3%）で「「仕事」を優先している」が最も高く、パート・アルバイト・臨時雇い・派遣社員では「「仕事」と「家庭生活」をともに優先している」（36.1%）が最も高くなっている。

従業員数別にみると、300～499人と500人以上は「「仕事」を優先している」が最も高く、他のグループでは「「仕事」と「家庭生活」をともに優先している」が最も高くなっている。

□ 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）についてお尋ねします

問16 【現在、職業を持っている方にお伺いします。】

あなたの職場では、有給休暇や育児・介護休業を取りやすい環境にありますか。1～3それぞれの項目について、あなたのお気持ちに最も近いものを選んでください（○はそれぞれ1つずつ）。



休みの取りやすさについてみると、有給休暇は、『取りやすい』（「取りやすい」＋「どちらかといえば取りやすい」）は女性（66.4%）、男性（65.8%）とあまり差がみられない。

育児休業は、『取りやすい』は女性（64.6%）に対して男性（37.2%）と大きな差がみられる。

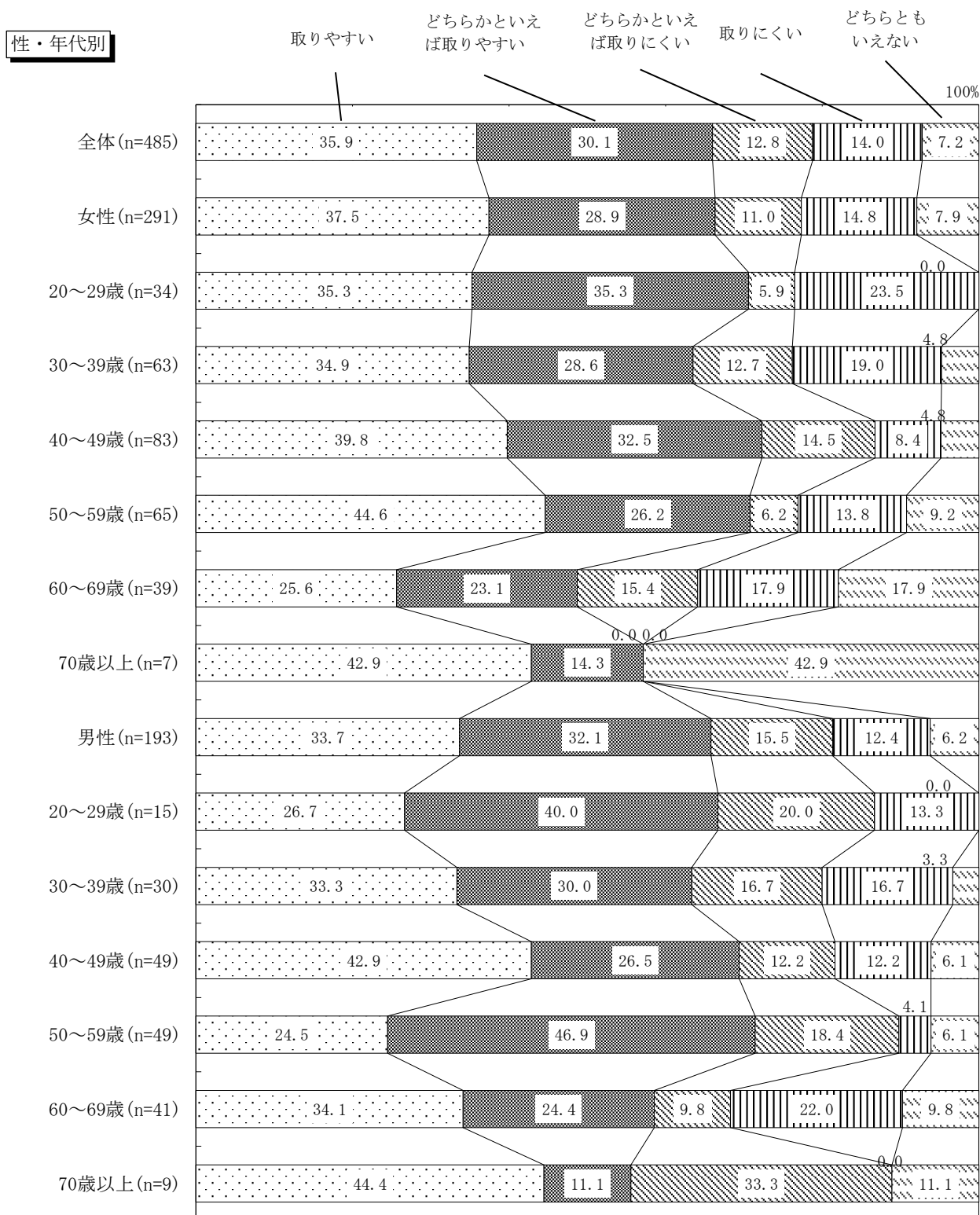
介護休業は、『取りやすい』は女性（43.3%）に対して男性（29.8%）と男性の方が13.5ポイント下回っている。

□ 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）についてお尋ねします

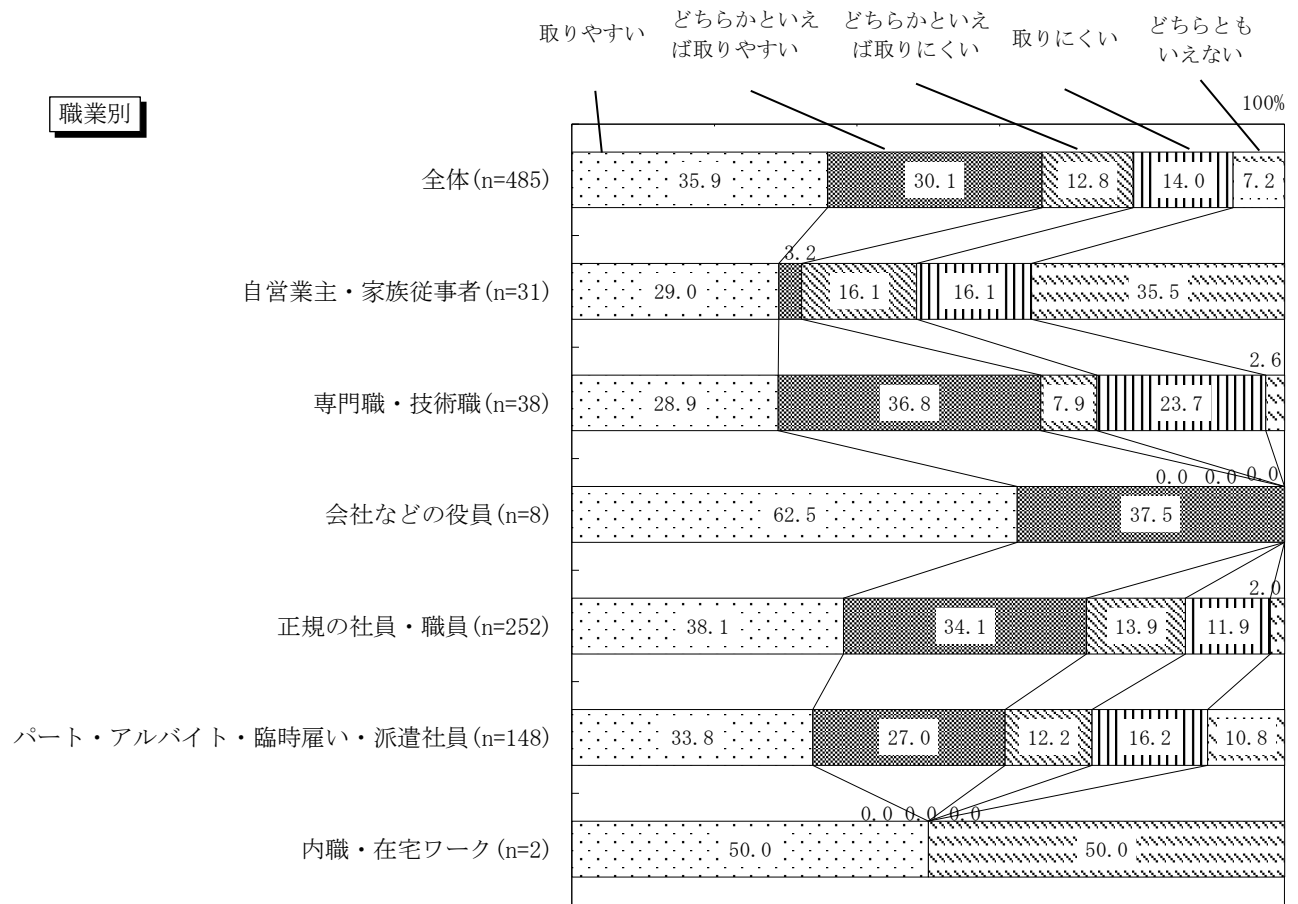
問16 【現在、職業を持っている方にお伺いします。】

あなたの職場では、有給休暇や育児・介護休業を取りやすい環境にありますか。1～3それぞれの項目について、あなたのお気持ちに最も近いものを選んでください（○はそれぞれ1つずつ）。

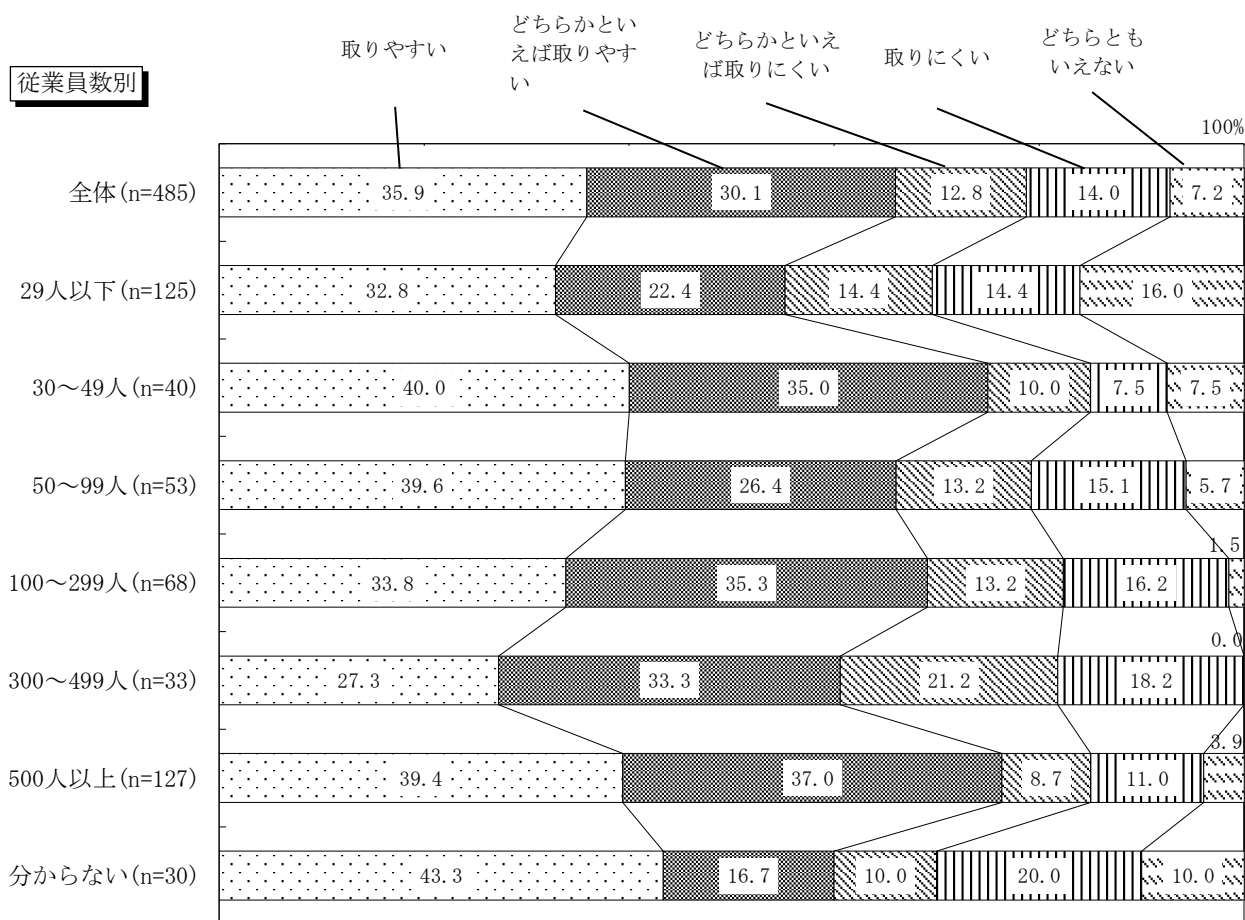
1 有給休暇



年代別にみると、全ての年代において『取りやすい』が『取りにくい』（「取りにくい」＋「どちらかといえば取りにくい」）を上回っている。男女ともに60代以上では『取りやすい』が他の年代に比べて低くなっている。



職業別にみると、会社などの役員は『取りやすい』が100%となっている。自営業主・家族従事者は『取りやすい』と『取りにくい』が同率で32.2%となっている。



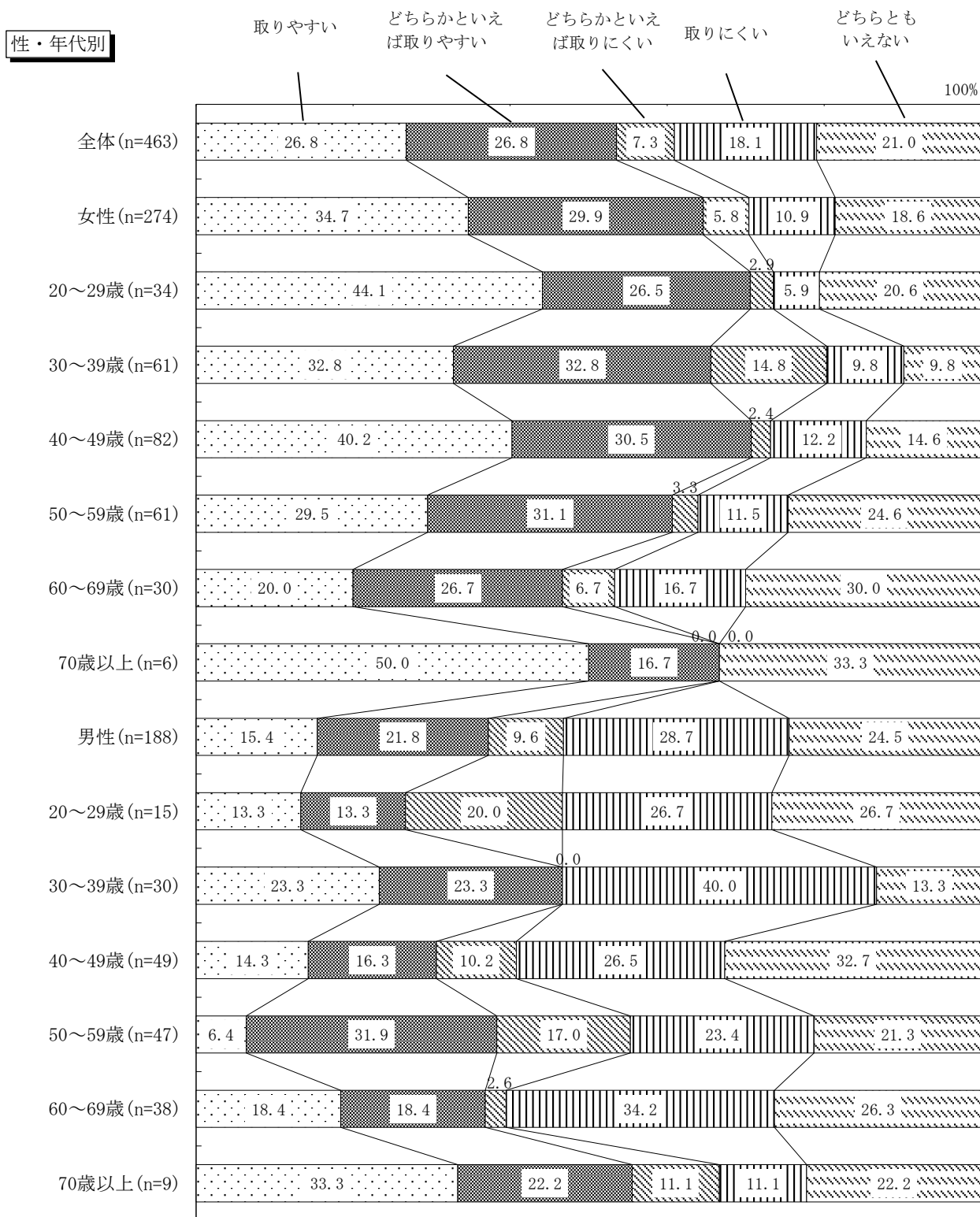
従業員数別にみると、『取りやすい』は500人以上（76.4%）が最も高く、次いで30～49人（75.0%）となっている。

□ 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）についてお尋ねします

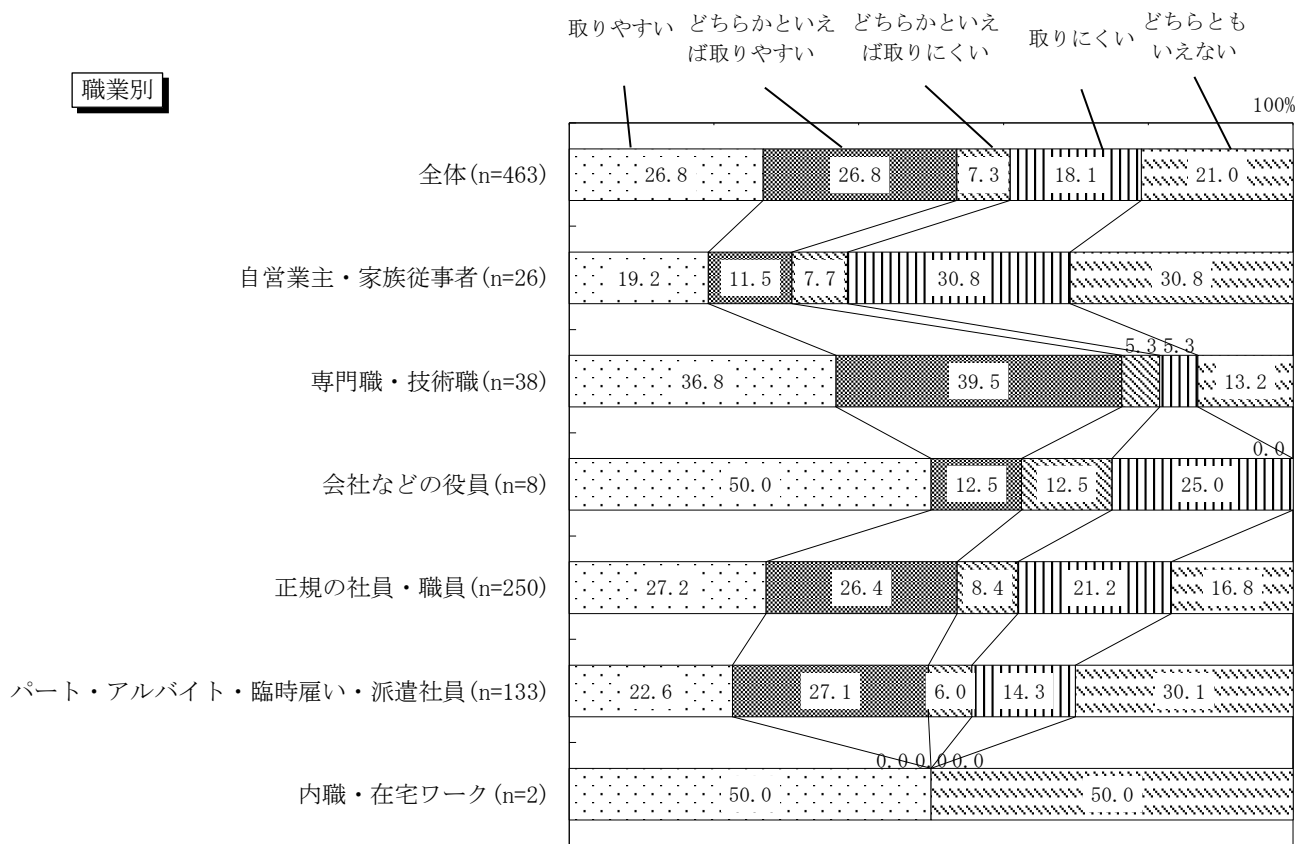
問16 【現在、職業を持っている方にお伺いします。】

あなたの職場では、有給休暇や育児・介護休業を取りやすい環境にありますか。1～3それぞれの項目について、あなたのお気持ちに最も近いものを選んでください（○はそれぞれ1つずつ）。

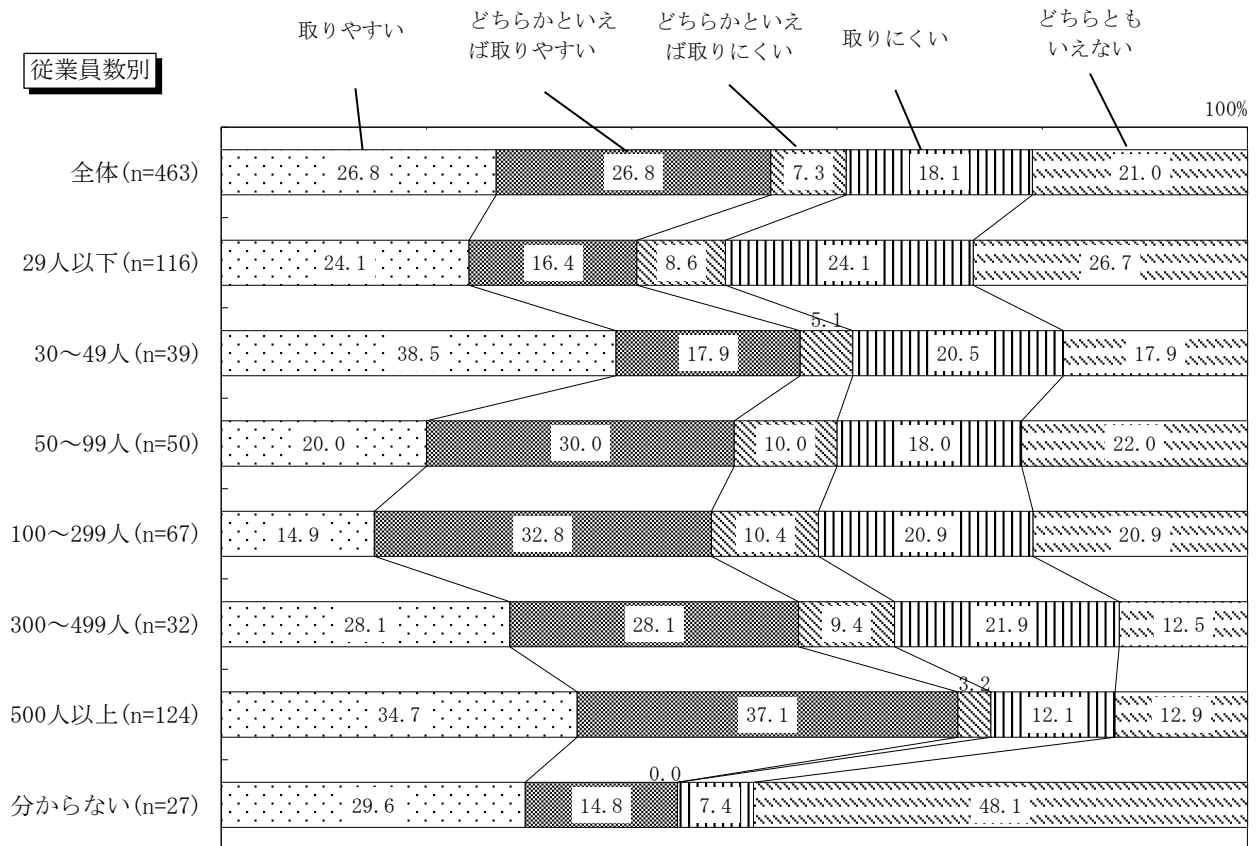
2 育児休業



年代別にみると、『取りやすい』は女性40代（70.7%）、女性20代（70.6%）で高くなっている。『取りにくい』は男性20代（46.7%）、男性50代（40.4%）で高くなっており、『取りやすい』（男性20代26.6%、男性50代38.3%）を上回っている。



職業別にみると、『取りやすい』は専門職・技術職（76.3%）で最も高く、次いで会社などの役員（62.5%）となっている。



従業員数別にみると、500人以上では、他の規模に比べて『取りやすい』（71.8%）が高くなっている。

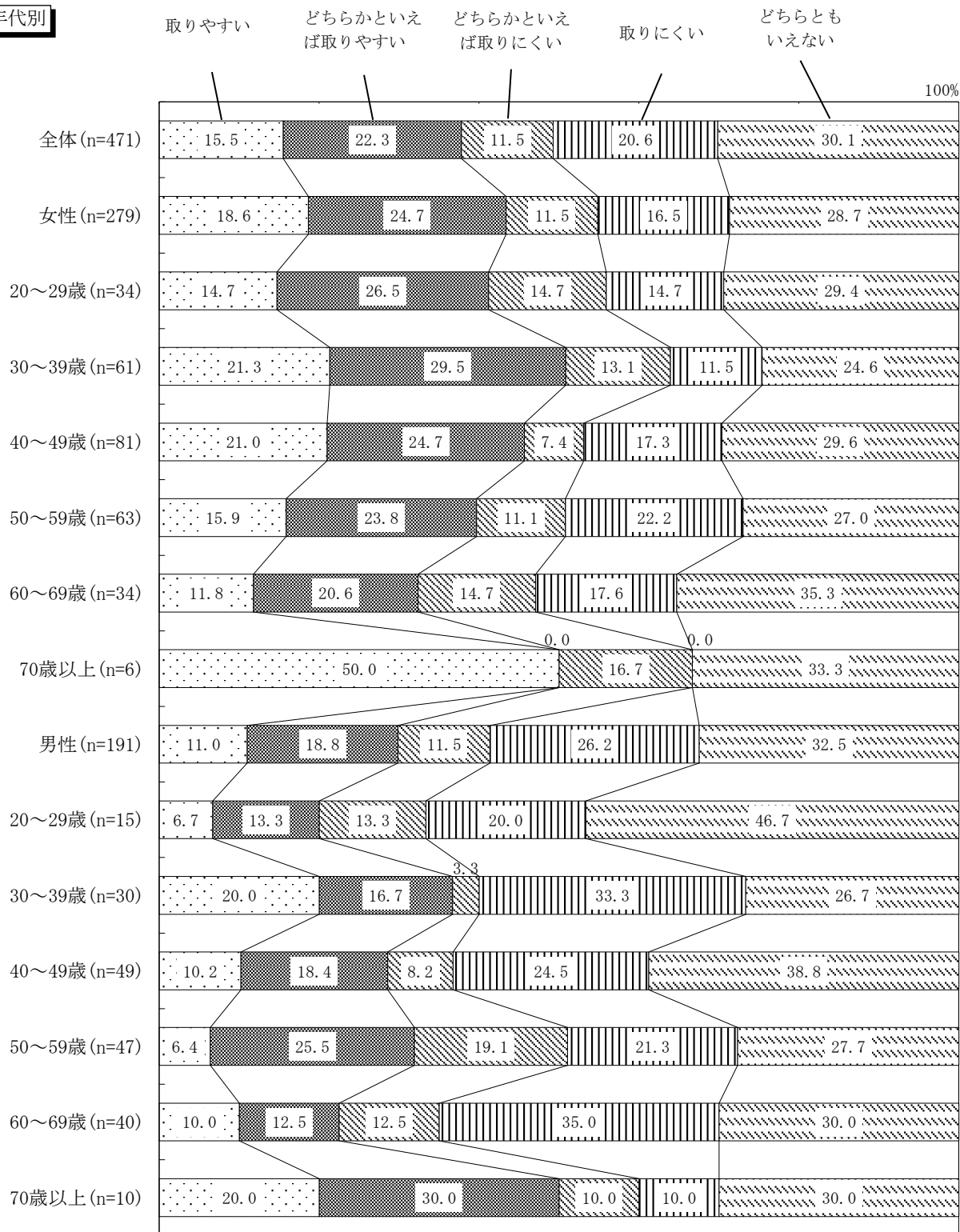
□ 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）についてお尋ねします

問16 【現在、職業を持っている方にお伺いします。】

あなたの職場では、有給休暇や育児・介護休業を取りやすい環境にありますか。1～3それぞれの項目について、あなたのお気持ちに最も近いものを選んでください（○はそれぞれ1つずつ）。

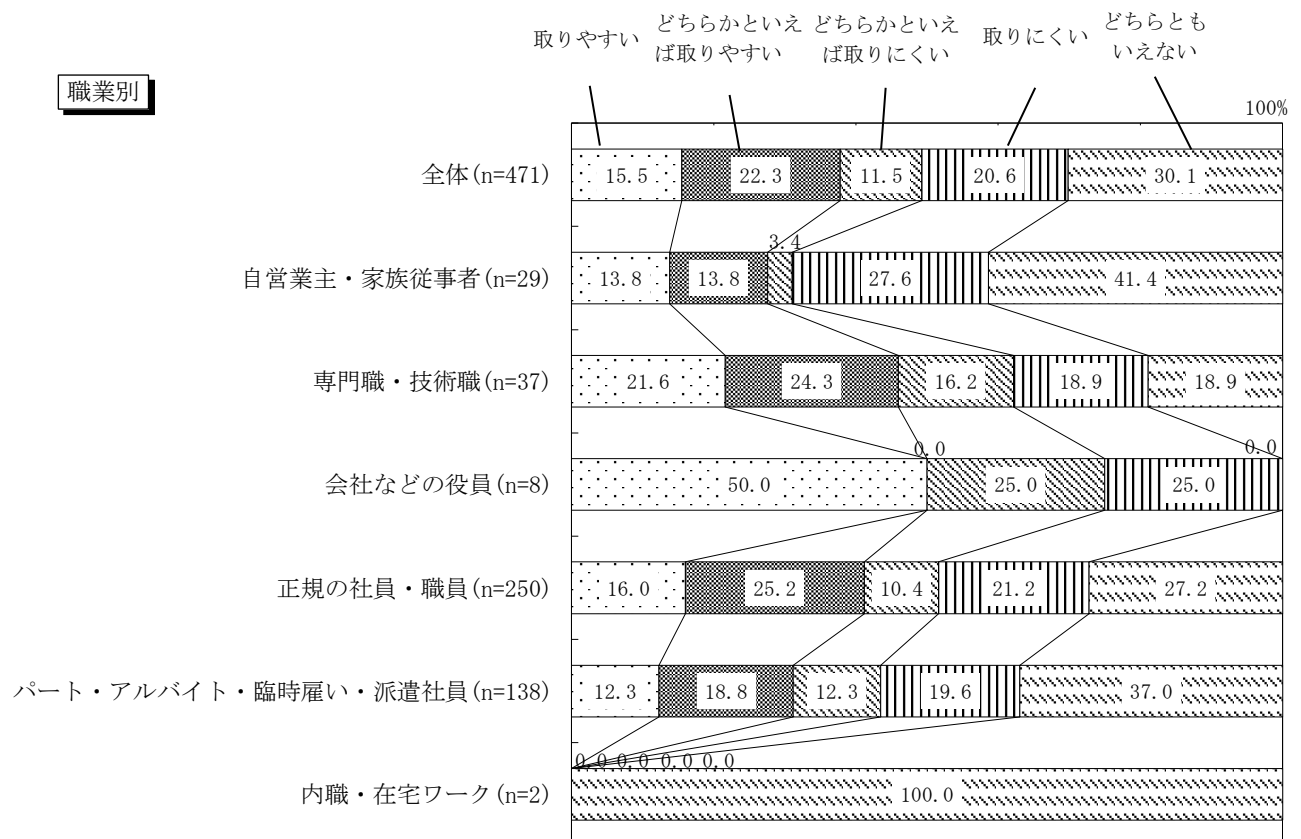
3 介護休業

性・年代別



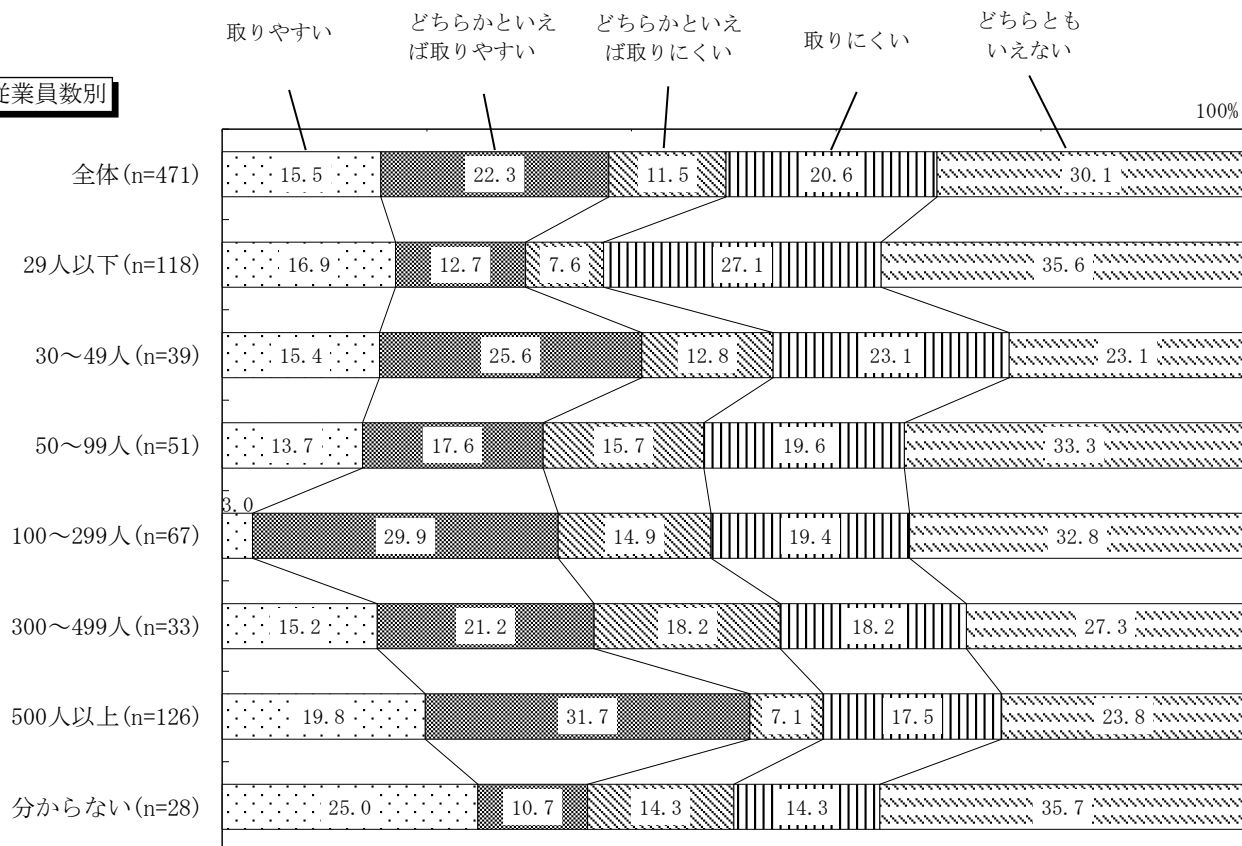
年代別にみると、男性20代、男性40代、男性50代、男性60代では『取りにくい』が『取りやすい』を上回っている。女性60代と男性30代では『取りやすい』と『取りにくい』がほぼ同率である。

職業別



職業別にみると、会社などの役員は『取りやすい』と『取りにくい』が50%で同率である。自営業主・家族従事者とパート・アルバイト・臨時雇い・派遣社員では『取りにくい』が『取りやすい』を上回っている。

従業員数別



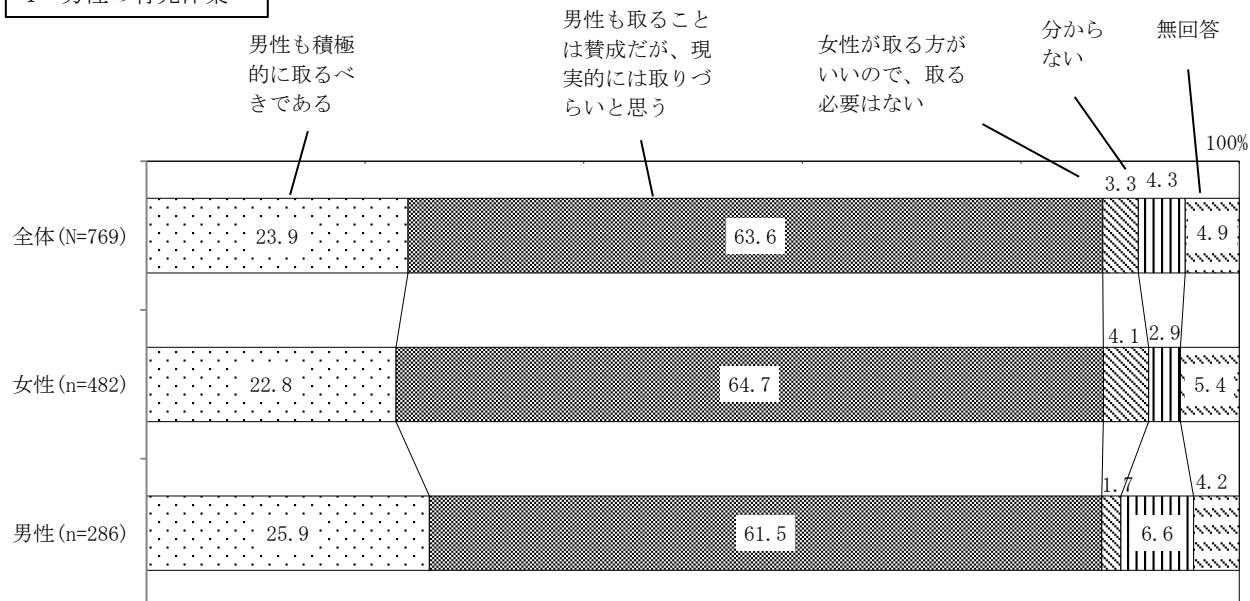
従業員数別にみると、『取りやすい』は500人以上（51.5%）が最も高く、次いで30～49人（41.0%）となっている。

□ 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）についてお尋ねします

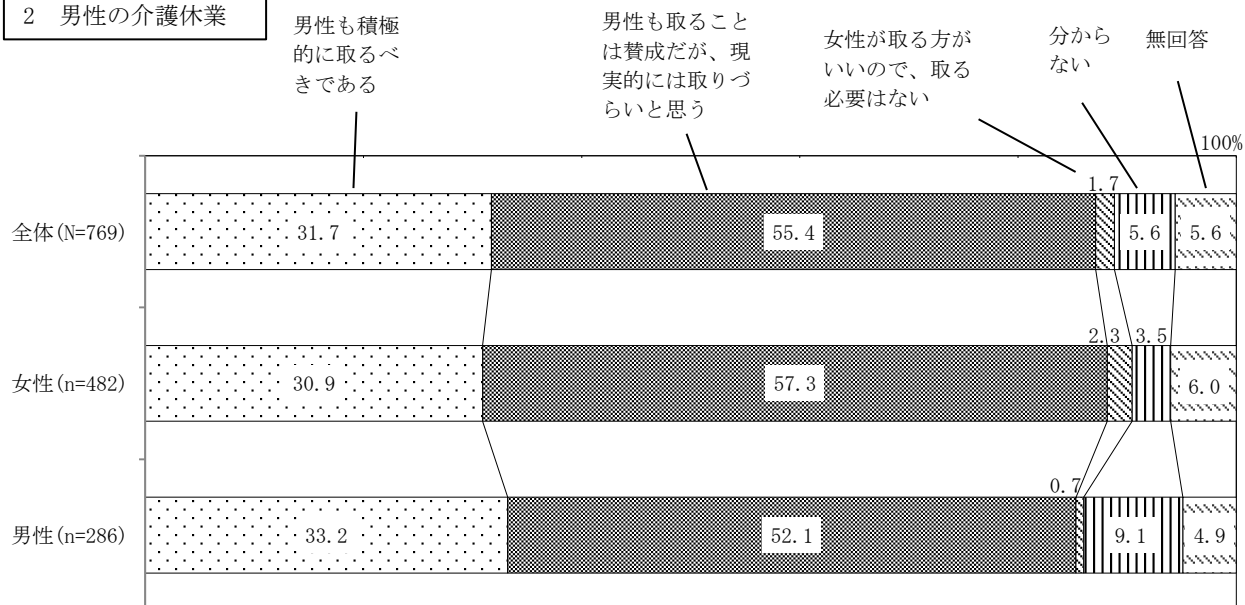
問 1 7

あなたは、男性が育児休業・介護休業をすることについてどう思いますか。1～2の項目について、あなたのお考えに最も近いものを選んでください（○は1つずつ）。

1 男性の育児休業



2 男性の介護休業



男性が育児休業をすることについて性別にみると、男女ともに「男性も取ることは賛成だが、現実的には取りづらいと思う」が最も高くなっている（女性64.7%、男性61.5%）。「男性も積極的に取るべきである」は男性（25.9%）が女性（22.8%）をやや上回っている。

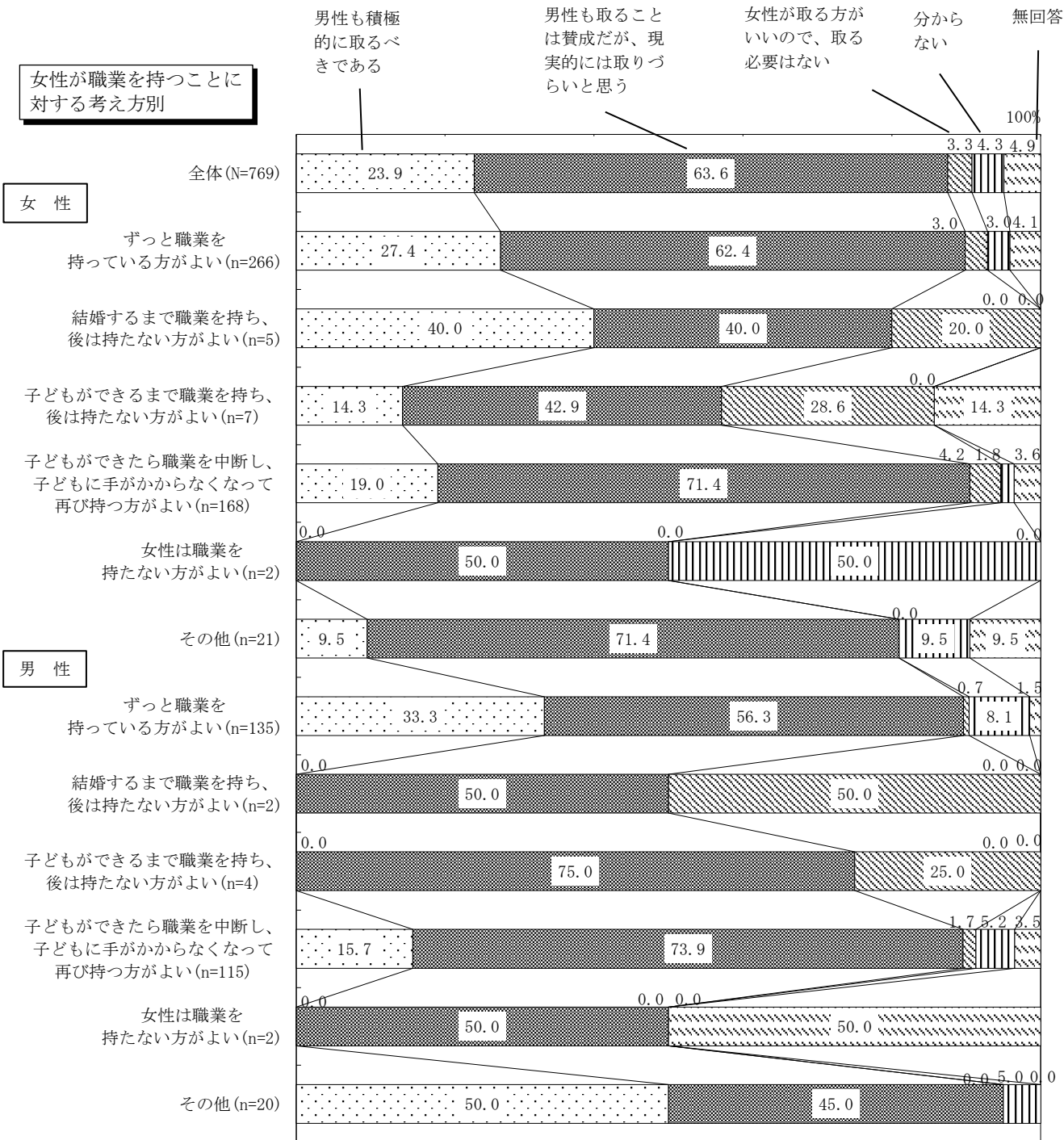
男性が介護休業をすることについてみると、男女ともに「男性も取ることは賛成だが、現実的には取りづらいと思う」が最も高くなっている（女性57.3%、男性52.1%）。「男性も積極的に取るべきである」は男性（33.2%）が女性（30.9%）をやや上回っている。

□ 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）についてお尋ねします

問 1 7

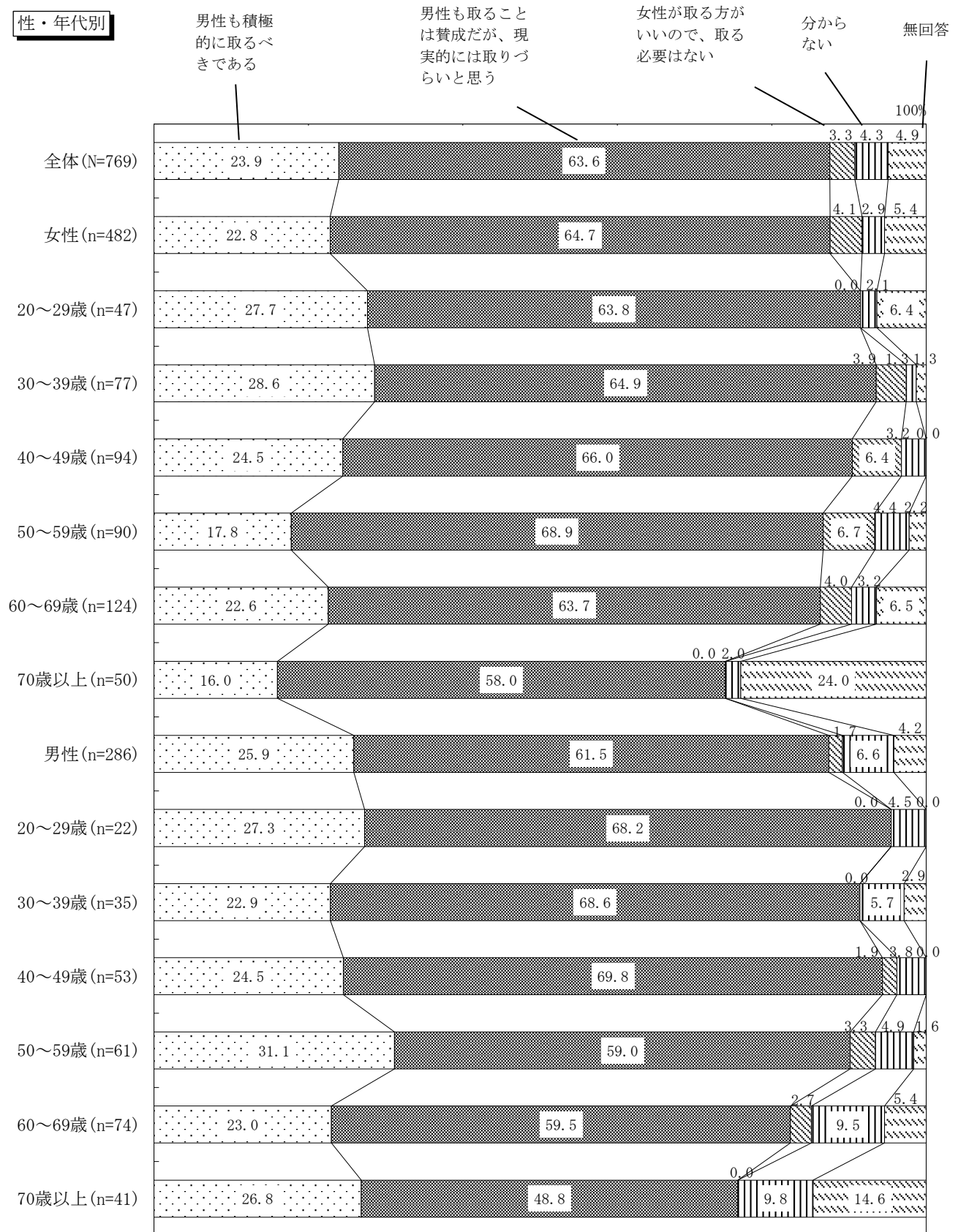
あなたは、男性が育児休業・介護休業をすることについてどう思いますか。1～2の項目について、あなたのお考えに最も近いものを選んでください（○は1つずつ）。

1 男性の育児休業



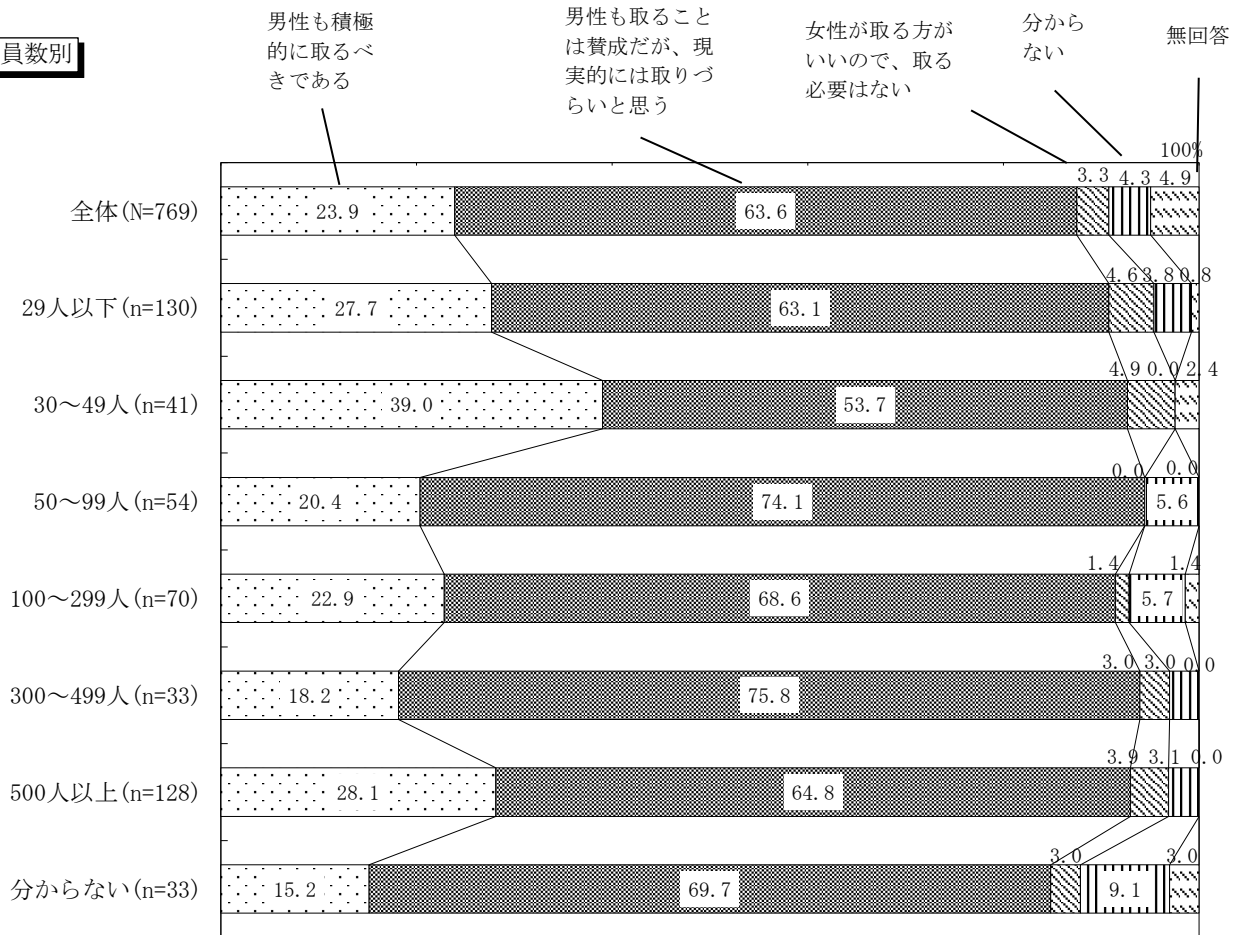
女性が職業を持つことに対する考え方別にみると、「男性も積極的に取るべきである」の割合が最も高いのは、「結婚するまで職業を持ち、後は持たない方がよい」（40.0%）と考える女性のグループである。「男性も取るとは賛成だが、現実的には取りづらいと思う」の割合は、「子どもができるまで職業を持ち、後は持たない方がよい」（75.0%）と考える男性グループが最も高くなっている。

性・年代別



年代別にみると、いずれの年代も「男性も取ることは賛成だが、現実的には取りづらいと思う」が最も高くなっている。女性20代、女性70歳以上、男性20代、男性30代、男性70歳以上は「女性が取る方がいいので、取る必要はない」と回答した人はいなかった。

従業員数別



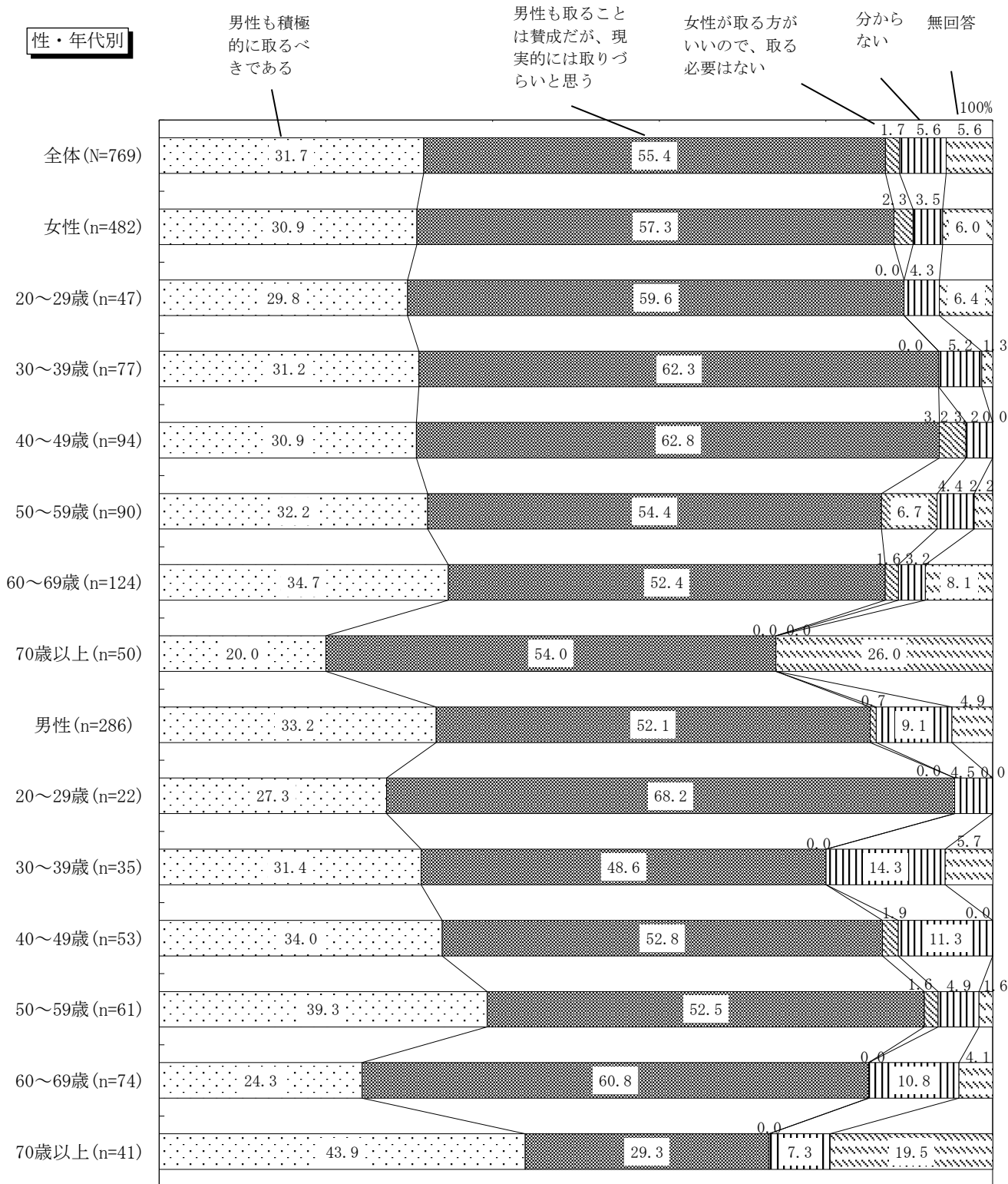
従業員数別にみると、いずれのグループでも「男性も取ることは賛成だが、現実的には取りづらいと思う」が最も高くなっている。「男性も積極的に取るべきである」は30~49人(39.0%)で他のグループに比べて高くなっている。

□ 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）についてお尋ねします

問 1 7

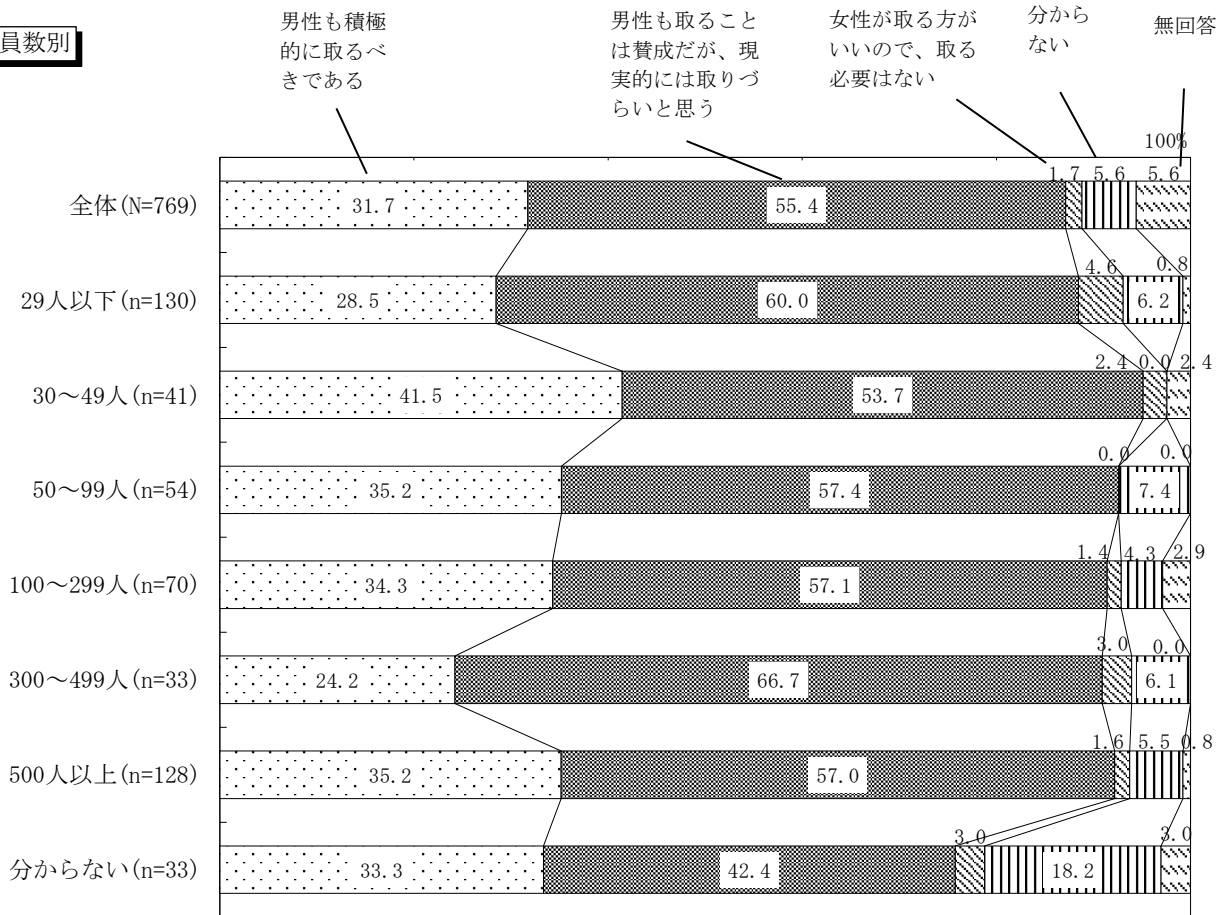
あなたは、男性が育児休業・介護休業をすることについてどう思いますか。1～2の項目について、あなたのお考えに最も近いものを選んでください（○は1つずつ）。

2 男性の介護休業



年代別にみると、いずれの年代も「男性も取ることは賛成だが、現実的には取りづらいと思う」が最も高くなっている。「男性も積極的に取るべきである」は男性70歳以上（43.9%）が最も高く、次いで男性50代（39.3%）となっている。男性60代と男女ともに20代、30代、70歳以上は「女性が取る方がいいので、取る必要はない」と回答した人はいなかった。

従業員数別

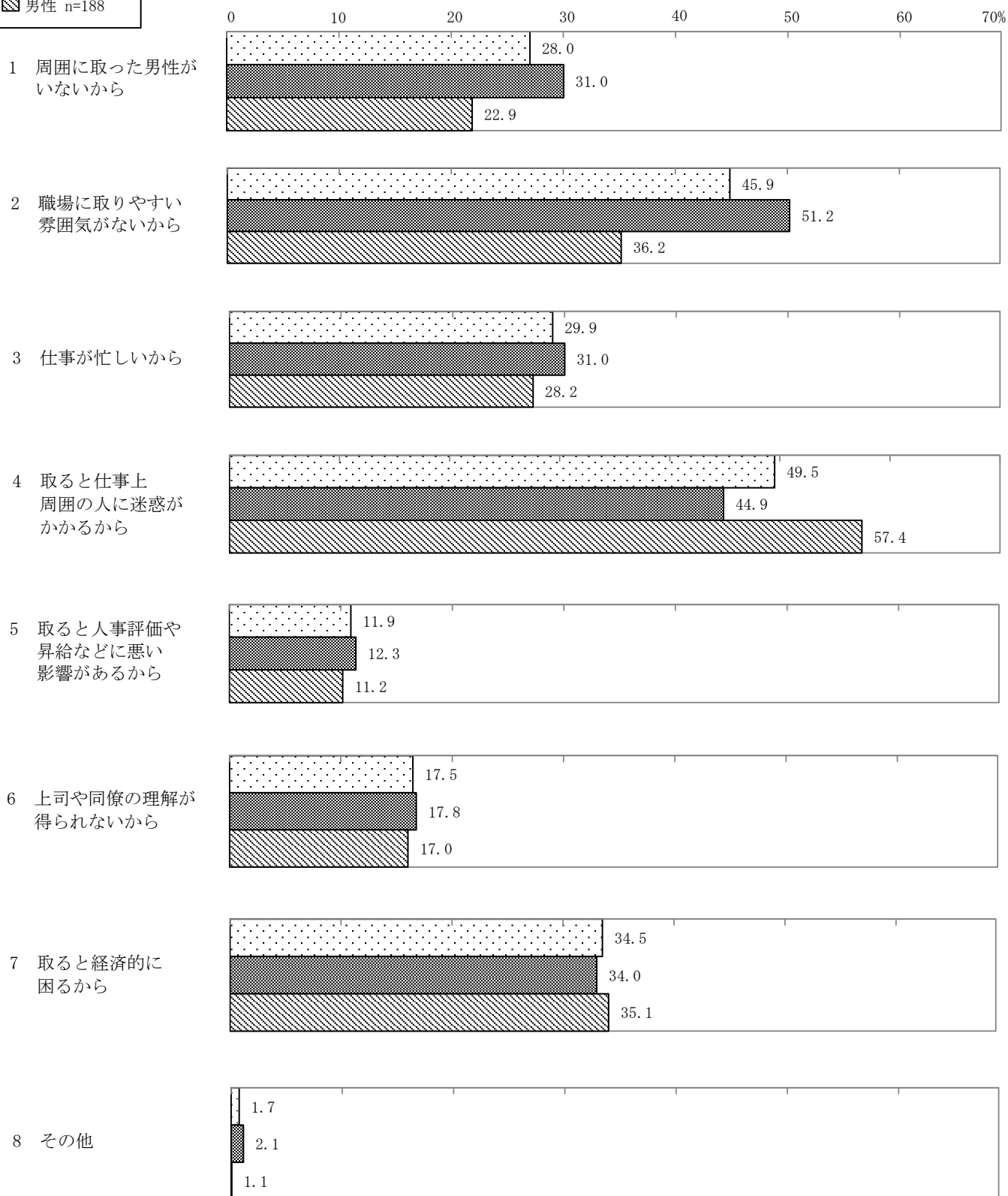
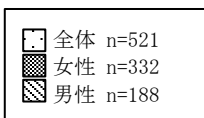


従業員数別にみると、いずれのグループでも「男性も取ることは賛成だが、現実的には取りづらいと思う」が最も高くなっている。「男性も積極的に取るべきである」は30~49人（41.5%）が最も高くなっている。

□ 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）についてお尋ねします

問18【問17で「2 男性も取ることは賛成だが、現実的には取りづらいと思う」と回答した方にお伺いします。】

その理由は何だと思えますか（〇は3つまで）。



「男性も取ることは賛成だが、現実的には取りづらいと思う」理由についてみると、「取ると仕事上周囲の人に迷惑がかかるから」（49.5%）が最も多く、次いで「職場に取りやすい雰囲気がないから」（45.9%）となっている。「職場に取りやすい雰囲気がないから」は女性（51.2%）が男性（36.2%）より15.0ポイント上回っており、「取ると仕事上周囲の人に迷惑がかかるから」では男性（57.4%）が女性（44.9%）より12.5ポイント上回っている。

※問18 項目集計表（性・年代別） [構成比(%)／人数(人)]

	い 周 な い に か ら 取 つ た 男 性 が	困 職 場 に 取 り や す い 雰 囲 気 が な い か ら	仕 事 が 忙 し い か ら	ら 人 取 る に 迷 と 惑 が 事 か 上 か 周 る 困 か の	あ 給 取 る な ど に 人 悪 事 評 価 や 昇 給 に 影 響 が	得 上 司 や 同 僚 の 理 解 が	か 取 ら と 経 済 的 に 困 る	そ の 他	無 回 答
【全体】 n=521	28.0 (146)	45.9 (239)	29.9 (156)	49.5 (258)	11.9 (62)	17.5 (91)	34.5 (180)	1.7 (9)	3.6 (19)
【女性】 n=332	31.0 (103)	51.2 (170)	31.0 (103)	44.9 (149)	12.3 (41)	17.8 (59)	34.0 (113)	2.1 (7)	3.6 (12)
【男性】 n=188	22.9 (43)	36.2 (68)	28.2 (53)	57.4 (108)	11.2 (21)	17.0 (32)	35.1 (66)	1.1 (2)	3.7 (7)
女性【20～29歳】 n=31	35.5 (11)	58.1 (18)	38.7 (12)	32.3 (10)	3.2 (1)	12.9 (4)	25.8 (8)	6.5 (2)	0.0 (0)
【30～39歳】 n=55	50.9 (28)	49.1 (27)	30.9 (17)	34.5 (19)	25.5 (14)	12.7 (7)	40.0 (22)	0.0 (0)	1.8 (1)
【40～49歳】 n=65	29.2 (19)	52.3 (34)	46.2 (30)	53.8 (35)	10.8 (7)	23.1 (15)	27.7 (18)	1.5 (1)	1.5 (1)
【50～59歳】 n=62	27.4 (17)	45.2 (28)	30.6 (19)	48.4 (30)	12.9 (8)	22.6 (14)	43.5 (27)	1.6 (1)	3.2 (2)
【60～69歳】 n=87	26.4 (23)	56.3 (49)	24.1 (21)	44.8 (39)	10.3 (9)	13.8 (12)	33.3 (29)	2.3 (2)	8.0 (7)
【70歳以上】 n=32	15.6 (5)	43.8 (14)	12.5 (4)	50.0 (16)	6.3 (2)	21.9 (7)	28.1 (9)	3.1 (1)	3.1 (1)
男性【20～29歳】 n=16	25.0 (4)	43.8 (7)	12.5 (2)	56.3 (9)	12.5 (2)	18.8 (3)	43.8 (7)	0.0 (0)	0.0 (0)
【30～39歳】 n=24	20.8 (5)	33.3 (8)	33.3 (8)	45.8 (11)	4.2 (1)	41.7 (10)	41.7 (10)	0.0 (0)	0.0 (0)
【40～49歳】 n=39	38.5 (15)	25.6 (10)	33.3 (13)	46.2 (18)	7.7 (3)	2.6 (1)	30.8 (12)	2.6 (1)	5.1 (2)
【50～59歳】 n=39	30.8 (12)	30.8 (12)	20.5 (8)	53.8 (21)	7.7 (3)	10.3 (4)	48.7 (19)	0.0 (0)	5.1 (2)
【60～69歳】 n=49	14.3 (7)	44.9 (22)	30.6 (15)	69.4 (34)	16.3 (8)	16.3 (8)	32.7 (16)	0.0 (0)	2.0 (1)
【70歳以上】 n=21	0.0 (0)	42.9 (9)	33.3 (7)	71.4 (15)	19.0 (4)	28.6 (6)	9.5 (2)	4.8 (1)	9.5 (2)

年代別にみると、女性は20代（58.1%）、60代（56.3%）で「職場に取りやすい雰囲気がないから」、30代は「周囲に取った男性がいないから」（50.9%）、40代、50代、70歳以上では「取ると仕事上周囲の人に迷惑がかかるから」が最も多くなっている。一方、男性はいずれの年代も「取ると仕事上周囲の人に迷惑がかかるから」が最も多く、60代以上が他の年代よりも多くなっている。

※問18 項目集計表（従業員数別） [構成比(%)／人数(人)]

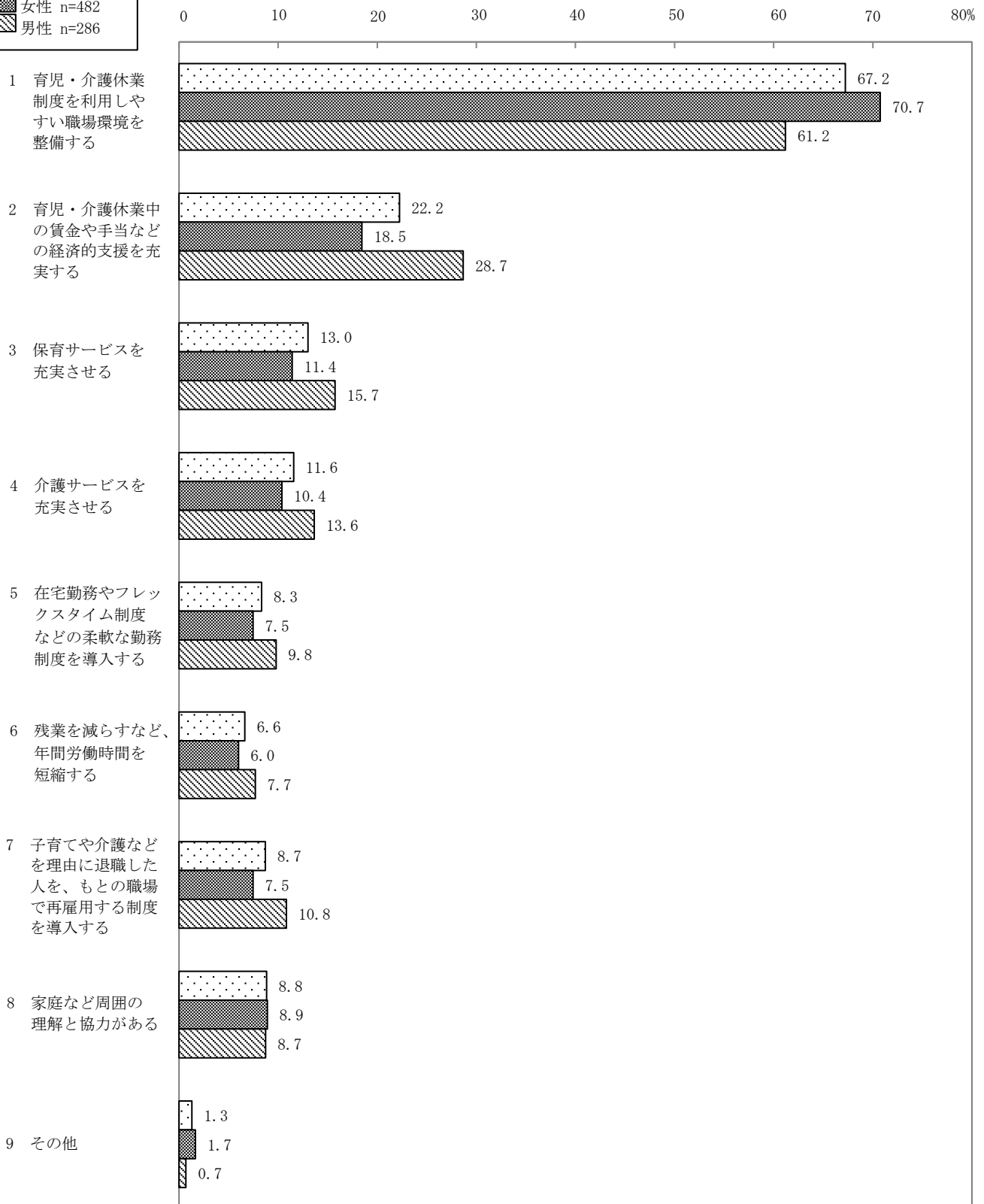
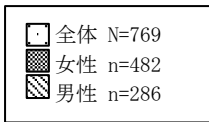
	い 周 な い か ら 取 つ た 男 性 が	困 職 場 に 取 り や す い 雰 囲 が な い か ら	仕 事 が 忙 し い か ら	ら 人 取 る に 迷 と 惑 が 事 か 上 か 周 る 困 か	あ 給 取 る な ど に 人 事 評 価 や 昇 給 に 影 響 が	得 上 り や 同 僚 の 理 解 が	か 取 ら と 経 済 的 に 困 る	そ の 他	無 回 答
【全体】 n=521	28.0 (146)	45.9 (239)	29.9 (156)	49.5 (258)	11.9 (62)	17.5 (91)	34.5 (180)	1.7 (9)	3.6 (19)
【29人以下】 n=85	27.1 (23)	41.2 (35)	42.4 (36)	55.3 (47)	14.1 (12)	17.6 (15)	43.5 (37)	0.0 (0)	1.2 (1)
【30～49人】 n=23	30.4 (7)	34.8 (8)	47.8 (11)	43.5 (10)	4.3 (1)	26.1 (6)	47.8 (11)	8.7 (2)	0.0 (0)
【50～99人】 n=42	26.2 (11)	50.0 (21)	21.4 (9)	52.4 (22)	4.8 (2)	16.7 (7)	35.7 (15)	0.0 (0)	4.8 (2)
【100～299人】 n=50	44.0 (22)	42.0 (21)	34.0 (17)	46.0 (23)	8.0 (4)	10.0 (5)	28.0 (14)	2.0 (1)	2.0 (1)
【300～499人】 n=27	29.6 (8)	37.0 (10)	33.3 (9)	29.6 (8)	3.7 (1)	14.8 (4)	29.6 (8)	0.0 (0)	3.7 (1)
【500人以上】 n=88	34.1 (30)	45.5 (40)	36.4 (32)	51.1 (45)	11.4 (10)	8.0 (7)	31.8 (28)	1.1 (1)	2.3 (2)
【分からない】 n=24	29.2 (7)	37.5 (9)	4.2 (1)	41.7 (10)	4.2 (1)	8.3 (2)	33.3 (8)	4.2 (1)	12.5 (3)

従業員数別にみると、30～49人では「仕事が忙しいから」、300～499人では「職場に取りやすい雰囲気がないから」が最も多く、他のグループでは「取ると仕事上周囲の人に迷惑がかかるから」が最も多くなっている。

□ 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）についてお尋ねします

問19

あなたは、男性と女性がともに仕事と家庭生活を両立させていく環境をつくるためにはどのようなことが必要だと思いますか（○は当てはまるもの全て）。



男女がともに仕事と家庭生活を両立させるために必要なことについて性別にみると、男女ともに「育児・介護休業制度を利用しやすい職場環境を整備する」（女性70.7%、男性61.2%）が最も多くなっている。次いで「育児・介護休業中の賃金や手当などの経済的支援を充実する」（女性18.5%、男性28.7%）となっている。

※問 19 項目集計表 (女性就労別) [構成比(%) / 人数(人)]

	備用育 すし や・ すい 職休 場業 環制 境度 を 整利	を 充 実 す る や 育 児 ・ 介 護 の 経 済 的 支 援 金	る 保 育 サ ー ビ ス を 充 実 さ せ	る 介 護 サ ー ビ ス を 充 実 さ せ	務 イ ム 制 度 を 導 入 す る 在 宅 勤 務 や フ レ ッ ク ス タ の 柔 軟 な 勤	勞 働 時 間 を 減 ら す な ど 、 年 間 残 業 を 短 縮 す る	導 入 す る 職 に 再 雇 用 す る 制 度 を 子 育 て や 介 護 な ど を 理 由 と し て 退 職 し た 人 を も と と し て	力 が あ る 家 庭 な ど 周 圍 の 理 解 と 協	そ の 他	無 回 答
【全体】 N=769	67.2 (517)	22.2 (171)	13.0 (100)	11.6 (89)	8.3 (64)	6.6 (51)	8.7 (67)	8.8 (68)	1.3 (10)	4.6 (35)
【ずっと職業を持っている方がよい】 n=401	67.6 (271)	21.9 (88)	13.7 (55)	11.0 (44)	8.2 (33)	5.7 (23)	5.5 (22)	6.7 (27)	1.2 (5)	3.5 (14)
【結婚するまで職業を持ち、後は持たない方がよい】 n=7	42.9 (3)	14.3 (1)	28.6 (2)	0.0 (0)	14.3 (1)	14.3 (1)	28.6 (2)	14.3 (1)	14.3 (1)	0.0 (0)
【子どもができるまで職業を持ち、後は持たない方がよい】 n=11	63.6 (7)	0.0 (0)	18.2 (2)	18.2 (2)	9.1 (1)	0.0 (0)	9.1 (1)	0.0 (0)	0.0 (0)	9.1 (1)
【子どもができたなら職業を中断し、子どもに手がからなくなって再び持つ方がよい】 n=284	69.0 (196)	25.0 (71)	12.7 (36)	13.7 (39)	8.5 (24)	8.1 (23)	13.0 (37)	11.3 (32)	0.7 (2)	1.8 (5)
【女性は職業を持たない方がよい】 n=4	25.0 (1)	25.0 (1)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	50.0 (2)
【その他】 n=41	78.0 (32)	19.5 (8)	12.2 (5)	9.8 (4)	12.2 (5)	9.8 (4)	9.8 (4)	14.6 (6)	4.9 (2)	4.9 (2)

※問 19 項目集計表 (既婚・未婚別) [構成比(%) / 人数(人)]

	備用育 すし や・ すい 職休 場業 環制 境度 を 整利	を 充 実 す る や 育 児 ・ 介 護 の 経 済 的 支 援 金	る 保 育 サ ー ビ ス を 充 実 さ せ	る 介 護 サ ー ビ ス を 充 実 さ せ	務 イ ム 制 度 を 導 入 す る 在 宅 勤 務 や フ レ ッ ク ス タ の 柔 軟 な 勤	勞 働 時 間 を 減 ら す な ど 、 年 間 残 業 を 短 縮 す る	導 入 す る 職 に 再 雇 用 す る 制 度 を 子 育 て や 介 護 な ど を 理 由 と し て 退 職 し た 人 を も と と し て	力 が あ る 家 庭 な ど 周 圍 の 理 解 と 協	そ の 他	無 回 答
【全体】 N=769	67.2 (517)	22.2 (171)	13.0 (100)	11.6 (89)	8.3 (64)	6.6 (51)	8.7 (67)	8.8 (68)	1.3 (10)	4.6 (35)
【既婚・共働きしている】 n=254	69.7 (177)	23.6 (60)	11.8 (30)	8.3 (21)	7.9 (20)	5.9 (15)	6.3 (16)	8.7 (22)	2.0 (5)	0.8 (2)
【既婚・夫だけが働いている】 n=103	68.0 (70)	20.4 (21)	9.7 (10)	8.7 (9)	5.8 (6)	2.9 (3)	7.8 (8)	5.8 (6)	1.0 (1)	5.8 (6)
【既婚・妻だけが働いている】 n=25	64.0 (16)	28.0 (7)	8.0 (2)	16.0 (4)	20.0 (5)	12.0 (3)	20.0 (5)	16.0 (4)	0.0 (0)	4.0 (1)
【既婚・夫婦とも無職である】 n=88	65.9 (58)	18.2 (16)	10.2 (9)	12.5 (11)	3.4 (3)	3.4 (3)	9.1 (8)	8.0 (7)	0.0 (0)	9.1 (8)
【離別】 n=68	55.9 (38)	30.9 (21)	19.1 (13)	20.6 (14)	10.3 (7)	7.4 (5)	10.3 (7)	8.8 (6)	0.0 (0)	8.8 (6)
【死別】 n=23	60.9 (14)	17.4 (4)	21.7 (5)	26.1 (6)	4.3 (1)	4.3 (1)	8.7 (2)	13.0 (3)	0.0 (0)	13.0 (3)
【未婚】 n=204	69.6 (142)	20.1 (41)	14.7 (30)	11.3 (23)	10.8 (22)	10.3 (21)	10.3 (21)	9.8 (20)	1.5 (3)	3.9 (8)

※問 19 項目集計表 (末子の子どもの年代別) [構成比(%) / 人数(人)]

	を利育 整用児 備し・ すや介 すす護 い休 職業 場制 環度 境を	支金育 援や手・ 充実な介 すす護 い休 職業 場制 環度 境を	せ保 育サ ービ スを 充実 さ	せ介 護サ ービ スを 充実 さ	なタ イム 制制 度度 をを 導導 入入 すす るる	在 宅 勤 務 制 度 を 導 入 す る	間残 業 を 減 ら す な ど 、 年 間 勤 務 時 間 を 短 縮 す る	制由 に子 育 て や 介 護 な ど を 理 由 に 退 職 し た 人 を 、 も 理 由 に 再 雇 用 す る	協家 力庭 がな あど る周 围 の 理 解 と	そ の 他	無 回 答
【全体】 N=769	67.2 (517)	22.2 (171)	13.0 (100)	11.6 (89)	8.3 (64)	6.6 (51)	8.7 (67)	8.8 (68)	1.3 (10)	4.6 (35)	
【1歳未満】 n=13	76.9 (10)	46.2 (6)	15.4 (2)	7.7 (1)	7.7 (1)	0.0 (0)	23.1 (3)	23.1 (3)	0.0 (0)	0.0 (0)	
【1歳以上3歳未満】 n=35	80.0 (28)	14.3 (5)	8.6 (3)	2.9 (1)	8.6 (3)	2.9 (1)	0.0 (0)	5.7 (2)	5.7 (2)	2.9 (1)	
【3歳以上小学校入学前】 n=33	84.8 (28)	18.2 (6)	12.1 (4)	9.1 (3)	6.1 (2)	3.0 (1)	6.1 (2)	12.1 (4)	0.0 (0)	0.0 (0)	
【小学生】 n=57	59.6 (34)	35.1 (20)	8.8 (5)	10.5 (6)	3.5 (2)	10.5 (6)	10.5 (6)	10.5 (6)	1.8 (1)	0.0 (0)	
【中学生】 n=37	54.1 (20)	27.0 (10)	16.2 (6)	10.8 (4)	8.1 (3)	8.1 (3)	8.1 (3)	10.8 (4)	0.0 (0)	0.0 (0)	
【高校・大学・大学院 生】 n=45	68.9 (31)	24.4 (11)	17.8 (8)	15.6 (7)	11.1 (5)	0.0 (0)	4.4 (2)	11.1 (5)	4.4 (2)	0.0 (0)	
【学校を終えた未婚の子 ども】 n=84	67.9 (57)	23.8 (20)	11.9 (10)	10.7 (9)	9.5 (8)	4.8 (4)	8.3 (7)	8.3 (7)	0.0 (0)	3.6 (3)	
【結婚した子ども】 n=188	61.7 (116)	19.7 (37)	13.8 (26)	15.4 (29)	5.3 (10)	5.9 (11)	10.6 (20)	8.0 (15)	0.5 (1)	10.1 (19)	
【いない】 n=233	71.2 (166)	20.6 (48)	13.3 (31)	10.7 (25)	11.6 (27)	9.0 (21)	9.0 (21)	8.6 (20)	1.3 (3)	3.9 (9)	

※問 19 項目集計表 (職業別) [構成比(%) / 人数(人)]

	を利育 整用児 備し・ すや介 すす護 い休 職業 場制 環度 境を	支金育 援や手・ 充実な介 すす護 い休 職業 場制 環度 境を	せ保 育サ ービ スを 充実 さ	せ介 護サ ービ スを 充実 さ	なタ イム 制制 度度 をを 導導 入入 すす るる	在 宅 勤 務 制 度 を 導 入 す る	間残 業 を 減 ら す な ど 、 年 間 勤 務 時 間 を 短 縮 す る	制由 に子 育 て や 介 護 な ど を 理 由 に 退 職 し た 人 を 、 も 理 由 に 再 雇 用 す る	協家 力庭 がな あど る周 围 の 理 解 と	そ の 他	無 回 答
【全体】 N=769	67.2 (517)	22.2 (171)	13.0 (100)	11.6 (89)	8.3 (64)	6.6 (51)	8.7 (67)	8.8 (68)	1.3 (10)	4.6 (35)	
【自営業主・家族従事 者】 n=41	61.0 (25)	12.2 (5)	17.1 (7)	9.8 (4)	4.9 (2)	7.3 (3)	12.2 (5)	4.9 (2)	0.0 (0)	7.3 (3)	
【専門職・技術職】 n=39	69.2 (27)	23.1 (9)	10.3 (4)	7.7 (3)	15.4 (6)	10.3 (4)	12.8 (5)	20.5 (8)	0.0 (0)	0.0 (0)	
【会社などの役員】 n=8	37.5 (3)	37.5 (3)	12.5 (1)	12.5 (1)	12.5 (1)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	
【正規の社員・職員】 n=255	71.4 (182)	24.7 (63)	12.9 (33)	11.4 (29)	9.4 (24)	5.1 (13)	6.3 (16)	7.1 (18)	0.8 (2)	0.8 (2)	
【パート・アルバイト・ 臨時雇い・派遣社員】 n=158	64.6 (102)	26.6 (42)	15.2 (24)	11.4 (18)	7.6 (12)	8.2 (13)	8.9 (14)	10.8 (17)	1.9 (3)	2.5 (4)	
【内職・在宅ワーク】 n=5	80.0 (4)	20.0 (1)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	

※問19 項目集計表（従業員数別） [構成比(%)／人数(人)]

	育児・介護休業制度を整備しやすい職場環境を	育児・介護休業中の資金や手当などの経済的支援を充実する	保育サービスを充実させる	介護サービスを充実させる	在宅勤務やフレックスタイム制度などの柔軟な勤務制度を導入する	残業時間を短縮する	子育てや介護などの職責を再雇用する	家庭など周囲の理解と協力がある	その他	無回答
【全体】 N=769	67.2 (517)	22.2 (171)	13.0 (100)	11.6 (89)	8.3 (64)	6.6 (51)	8.7 (67)	8.8 (68)	1.3 (10)	4.6 (35)
【29人以下】 n=130	66.9 (87)	18.5 (24)	11.5 (15)	7.7 (10)	8.5 (11)	5.4 (7)	6.9 (9)	6.2 (8)	0.8 (1)	3.8 (5)
【30～49人】 n=41	78.0 (32)	26.8 (11)	12.2 (5)	14.6 (6)	7.3 (3)	9.8 (4)	4.9 (2)	9.8 (4)	0.0 (0)	0.0 (0)
【50～99人】 n=54	63.0 (34)	35.2 (19)	9.3 (5)	5.6 (3)	3.7 (2)	3.7 (2)	5.6 (3)	3.7 (2)	0.0 (0)	0.0 (0)
【100～299人】 n=70	65.7 (46)	22.9 (16)	11.4 (8)	7.1 (5)	10.0 (7)	0.0 (0)	7.1 (5)	12.9 (9)	1.4 (1)	2.9 (2)
【300～499人】 n=33	81.8 (27)	30.3 (10)	21.2 (7)	27.3 (9)	18.2 (6)	18.2 (6)	15.2 (5)	12.1 (4)	0.0 (0)	3.0 (1)
【500人以上】 n=128	71.1 (91)	20.3 (26)	14.1 (18)	11.7 (15)	9.4 (12)	5.5 (7)	8.6 (11)	9.4 (12)	2.3 (3)	0.0 (0)
【分からない】 n=33	60.6 (20)	27.3 (9)	21.2 (7)	12.1 (4)	9.1 (3)	15.2 (5)	6.1 (2)	12.1 (4)	0.0 (0)	0.0 (0)

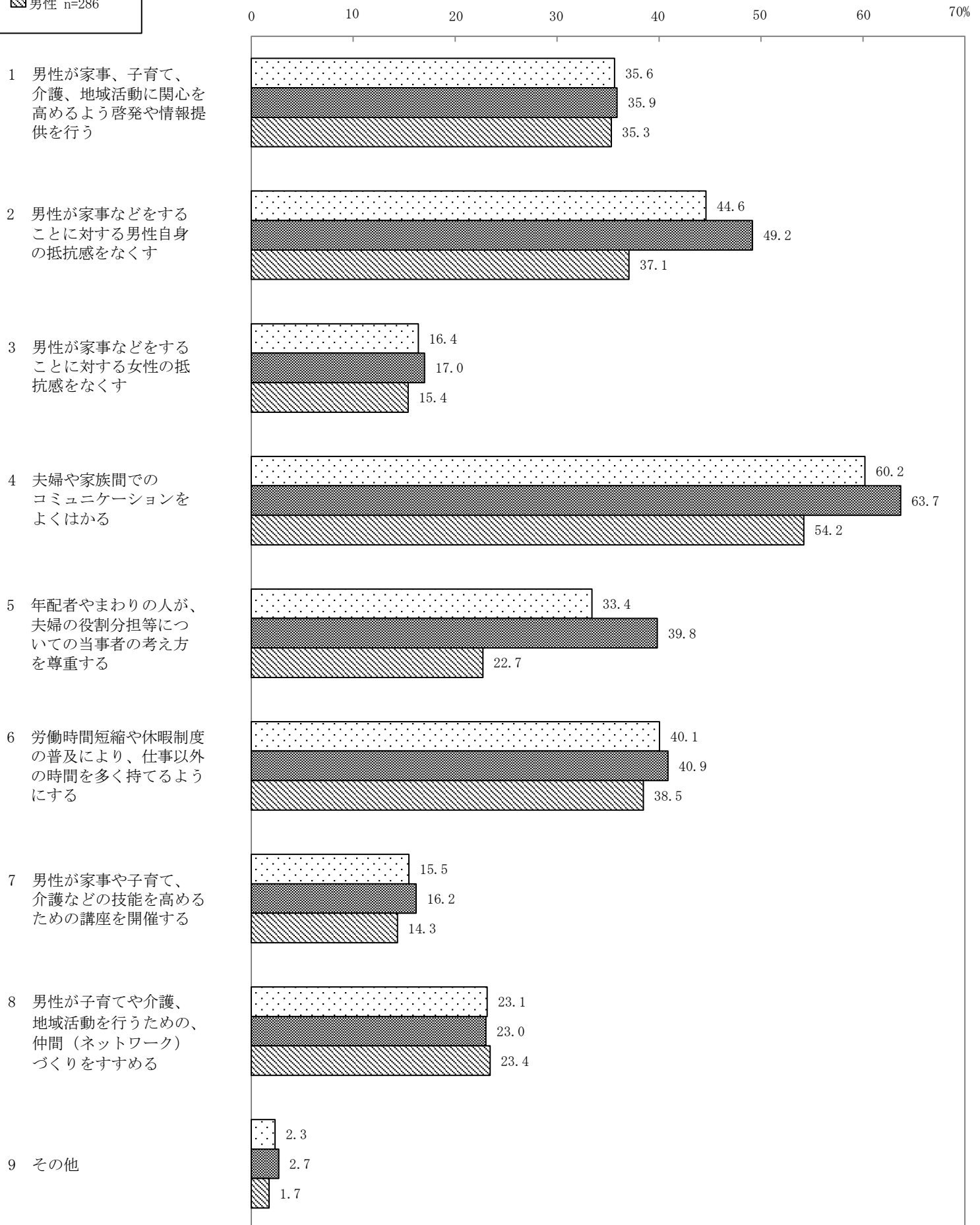
女性が職業を持つことに対する考え方別にみると、「女性は職業を持たない方がよい」と考えるグループは「育児・介護休業制度を利用しやすい職場環境を整備する」「育児・介護休業中の資金や手当などの経済的支援を充実する」（25.0%）が同率となっている。他のグループでは「育児・介護休業制度を利用しやすい職場環境を整備する」が最も多くなっている。

配偶関係別、末子の子どもの年代別、職業別、従業員数別のいずれのグループも「育児・介護休業制度を利用しやすい職場環境を整備する」が最も多くなっている。

□ 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）についてお尋ねします

問 2 0

あなたは、男性が女性とともに家事、子育て、介護、地域活動に積極的に参加していくためには、どのようなことが必要だと思いますか（○は当てはまるもの全て）。



男性が女性とともに家事、子育て、介護、地域活動に積極的に参加していくために必要なことについて性別にみると、男女ともに「夫婦や家族間でのコミュニケーションをよくはかる」（女性63.7%、男性54.2%）が最も多くなっている。次いで女性は「男性が家事などをする事に対する男性自身の抵抗感をなくす」（49.2%）が多く、男性は「労働時間短縮や休暇制度の普及により、仕事以外の時間を多く持てるようにする」（38.5%）が多くなっている。

※問20 項目集計表(性・年代別) [構成比(%) / 人数(人)]

	啓地域男性が活動に関心を持って、子育て、介護、啓発や情報提供を行うよう	く対男性が家事などをすること	対男性が家事などの抵抗感をなくす	ケ夫婦や家族間でのコミュニケーションをよくはかる	者の役割や分担等についての、当事者の考え方を尊重する	多及労働時間短縮や休業制度の普及により、仕事以外の時間を多く持てるようにする	をどの技能を高めるための、介護座を開催する	ト動男性が子育てや介護、地域活動を行うための、仲間(ネットワーキング)づくりをすすめる	その他	無回答
【全体】 N=769	35.6 (274)	44.6 (343)	16.4 (126)	60.2 (463)	33.4 (257)	40.1 (308)	15.5 (119)	23.1 (178)	2.3 (18)	4.6 (35)
【女性】 n=482	35.9 (173)	49.2 (237)	17.0 (82)	63.7 (307)	39.8 (192)	40.9 (197)	16.2 (78)	23.0 (111)	2.7 (13)	4.1 (20)
【男性】 n=286	35.3 (101)	37.1 (106)	15.4 (44)	54.2 (155)	22.7 (65)	38.5 (110)	14.3 (41)	23.4 (67)	1.7 (5)	5.2 (15)
女性【20～29歳】 n=47	36.2 (17)	38.3 (18)	21.3 (10)	68.1 (32)	40.4 (19)	59.6 (28)	21.3 (10)	27.7 (13)	2.1 (1)	4.3 (2)
【30～39歳】 n=77	36.4 (28)	55.8 (43)	19.5 (15)	70.1 (54)	40.3 (31)	54.5 (42)	19.5 (15)	31.2 (24)	3.9 (3)	1.3 (1)
【40～49歳】 n=94	25.5 (24)	55.3 (52)	19.1 (18)	64.9 (61)	40.4 (38)	53.2 (50)	8.5 (8)	19.1 (18)	4.3 (4)	0.0 (0)
【50～59歳】 n=90	38.9 (35)	46.7 (42)	14.4 (13)	50.0 (45)	35.6 (32)	26.7 (24)	10.0 (9)	22.2 (20)	2.2 (2)	3.3 (3)
【60～69歳】 n=124	44.4 (55)	46.0 (57)	15.3 (19)	70.2 (87)	45.2 (56)	32.3 (40)	21.0 (26)	24.2 (30)	1.6 (2)	4.8 (6)
【70歳以上】 n=50	28.0 (14)	50.0 (25)	14.0 (7)	56.0 (28)	32.0 (16)	26.0 (13)	20.0 (10)	12.0 (6)	2.0 (1)	16.0 (8)
男性【20～29歳】 n=22	40.9 (9)	36.4 (8)	18.2 (4)	63.6 (14)	9.1 (2)	50.0 (11)	0.0 (0)	9.1 (2)	0.0 (0)	0.0 (0)
【30～39歳】 n=35	22.9 (8)	34.3 (12)	8.6 (3)	57.1 (20)	20.0 (7)	48.6 (17)	5.7 (2)	14.3 (5)	2.9 (1)	2.9 (1)
【40～49歳】 n=53	30.2 (16)	41.5 (22)	20.8 (11)	58.5 (31)	32.1 (17)	35.8 (19)	18.9 (10)	24.5 (13)	0.0 (0)	0.0 (0)
【50～59歳】 n=61	32.8 (20)	37.7 (23)	11.5 (7)	44.3 (27)	11.5 (7)	31.1 (19)	9.8 (6)	27.9 (17)	0.0 (0)	4.9 (3)
【60～69歳】 n=74	43.2 (32)	39.2 (29)	13.5 (10)	58.1 (43)	27.0 (20)	39.2 (29)	18.9 (14)	23.0 (17)	4.1 (3)	4.1 (3)
【70歳以上】 n=41	39.0 (16)	29.3 (12)	22.0 (9)	48.8 (20)	29.3 (12)	36.6 (15)	22.0 (9)	31.7 (13)	2.4 (1)	19.5 (8)

※問20 項目集計表(職業別) [構成比(%) / 人数(人)]

	啓地域男性が活動に関心を持って、子育て、介護、啓発や情報提供を行うよう	く対男性が家事などをすること	対男性が家事などの抵抗感をなくす	ケ夫婦や家族間でのコミュニケーションをよくはかる	者の役割や分担等についての、当事者の考え方を尊重する	多及労働時間短縮や休業制度の普及により、仕事以外の時間を多く持てるようにする	をどの技能を高めるための、介護座を開催する	ト動男性が子育てや介護、地域活動を行うための、仲間(ネットワーキング)づくりをすすめる	その他	無回答
【全体】 N=769	35.6 (274)	44.6 (343)	16.4 (126)	60.2 (463)	33.4 (257)	40.1 (308)	15.5 (119)	23.1 (178)	2.3 (18)	4.6 (35)
【自営業主・家族従事者】 n=41	39.0 (16)	29.3 (12)	14.6 (6)	56.1 (23)	36.6 (15)	24.4 (10)	24.4 (10)	19.5 (8)	4.9 (2)	9.8 (4)
【専門職・技術職】 n=39	41.0 (16)	51.3 (20)	20.5 (8)	64.1 (25)	25.6 (10)	38.5 (15)	20.5 (8)	17.9 (7)	7.7 (3)	0.0 (0)
【会社などの役員】 n=8	25.0 (2)	50.0 (4)	0.0 (0)	37.5 (3)	0.0 (0)	37.5 (3)	0.0 (0)	25.0 (2)	0.0 (0)	0.0 (0)
【正規の社員・職員】 n=255	32.5 (83)	43.9 (112)	14.5 (37)	60.8 (155)	32.5 (83)	45.9 (117)	13.3 (34)	26.7 (68)	0.0 (0)	0.8 (2)
【パート・アルバイト・臨時雇い・派遣社員】 n=158	36.1 (57)	48.7 (77)	15.8 (25)	62.0 (98)	29.7 (47)	38.6 (61)	10.1 (16)	21.5 (34)	3.8 (6)	3.2 (5)
【内職・在宅ワーク】 n=5	20.0 (1)	60.0 (3)	40.0 (2)	40.0 (2)	60.0 (3)	60.0 (3)	20.0 (1)	40.0 (2)	0.0 (0)	0.0 (0)

年代別にみると、男女ともにいずれの年代も「夫婦や家族間でのコミュニケーションをよくはかる」が最も多くなっている。

職業別にみると、内職・在宅ワークでは「男性が家事などをするに対する男性自身の抵抗感をなくす」「労働時間短縮や休暇制度の普及により、仕事以外の時間を多く持てるようにする」（60.0%）が同率で最も多くなっている。会社などの役員では、「男性が家事などをするに対する男性自身の抵抗感をなくす」（50.0%）、それ以外の職業は「夫婦や家族間でのコミュニケーションをよくはかる」が最も多くなっている。